

建築と社会

2005 No.1004

特集 私の空間作法—会員作品—

11

日本建築協会



日本建築協会80年史
1917-1996

「日本建築協会80年史1917-1996」

増刷頒布中 頒価 3,000円

1999年7月に発刊した「日本建築協会80年史1917-1996」は、各方面から好評をいただいておりますが、このたび、皆様の強いご要望により、増刷・頒布することにいたしました。大正6年3月30日に関西建築協会として誕生した日本建築協会の80年の歴史を、様々な事業や委員会活動を通じて、また、本会設立者の片岡安、武田五一以降現在までの会員たちの社会活動を通して知ることができる記念誌として、A4判・240頁にまとめています。

とくに、協会草創期の大正・昭和初期の片岡安ら協会のメンバーと当時の大阪市長・関 一との交流を物語る一文は、大阪の都市計画史、あるいは関西の建築人物誌ともなっています。本会の歴史を知るだけでなく、建築を通して、それぞれの時代の雰囲気を感じることができる大変貴重な資料となるものです。

購入ご希望のかたは、下記要領でお申し込み下さい。

*

申込先 社団法人 日本建築協会

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31

大阪マーチャンダイズ・マートビル7階B室

TEL 06-6946-6981 FAX 06-6946-6984

頒 価 1部3,000円(税・送料込み)

※増刷部数には限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

*

「日本建築協会80年史」

A4判・240頁・並製本

●日本建築協会の沿革／委員会活動／「建築と社会」の変遷／大正時代から現在までの本会主催の博覧会・展覧会・講演会／よろず相談住宅展／青年建築家・青年技術者顕彰／工高生デザインコンクール入選者etc.

●日本建築協会創立者と会を支えた38人のプロフィール(片岡 安・設楽貞雄・武田五一・池田 實・波江悌夫・竹腰健造・尾崎久助・東畑謙三・塚本猛次・福田朝生・佐野正一・葛野壯一郎・横濱 勉・松本禹象・宗 兵蔵・園部文雄・日高 胖・野村一郎・古宇田 實・松室重光・松井貴太郎・安井武雄・中澤誠一郎・坂 静雄・今林彦太郎・井上新二・松本儀八・池田宮彦・錢高輝之・中西六郎・大林芳郎・鴻池藤一・伊東五郎・竹中鍊一・鷲尾健三・松村雄吉・横尾義貴・足立 孝)

●座談会「戦中から戦後初期の協会活動」一尾亀清四郎・大林芳郎・小西 岬・佐野正一・横尾義貴・三品哲夫の6氏による終戦前後の協会活動の証言一

■執筆ワーキンググループ

坂本勝比古／安達英俊／石田潤一郎／植松清志／梅宮弘光／桐浴邦夫／酒井一光／橋寺知子／山形政昭／吉田高子／和田康由

■80年史編纂委員会

長谷部朗郎／安達英俊／近藤達夫／谷淳之介／十倉 毅／原見昌志／和田康由／吉田悦二



「日本建築協会の遺産と功績」(坂本勝比古)より



「草創期の人々」より片岡安の項

会告

2005年建築関係団体
合同忘年懇親会

関西建築界恒例行事として、日本建築協会、大阪府建築士会、大阪建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部関係者が集い、忘年懇親会を開催し親交を深めてまいりました。

本年は日本建築協会が当番会として下記のとおり開催することになりましたので、会員各位の多数のご参加を頂きますようご案内申し上げます。

日 時 平成17年12月14日(水)

午後6時～7時30分

会 場 太閤園迎賓館

ダイヤモンドホール

大阪市都島区綱島町9-10

TEL.06 (6356) 1111

・JR東西線「大阪城北詰駅」

西口すぐ

・京阪「京橋駅」より西へ

徒歩10分

参加者 350名予定

会 費 6,000円

申込み 11月21日(月)までに、会費を添えて日本建築協会事務局までお申し込み下さい。

TEL.06-6946-6981

FAX.06-6946-6984

※郵便振替の場合は、下記口座にご送金をお願いします。

口座名 (社) 日本建築協会

口座番号00910-9-39975

お願い ①出席者名簿の作成のため、申し込みの際に氏名(ふりがな)・勤務先をお知らせ下さい。
②申込者で11月22日(火)までに欠席のご連絡がない場合は会費のご負担をお願いします。

2006年
建築関係14団体
合同新年交礼会

日 時 平成18年1月4日(水)

午後2時30分～3時30分

会 場 都ホテル大阪・浪速の間

大阪市天王寺区上本町6-1-55

参加者 680名予定

問い合わせ先/日本建築協会総務課 TEL.06-6946-6981

会 費 5,000円(当日欠席されても会費をいただきます)

申 込 12月5日(月)までに会費を添えて最寄り団体にお申し込み下さい。

共 催 (社)日本建築協会

(社)大阪府建築士会/(社)日本

建築学会近畿支部/(社)日本建

築家協会近畿支部/大阪建設

業協会ほか9団体

第5回 読者と選ぶ
「建築と社会」賞
実施要項

2004年1月～12月号
2005年1月～12月号
を対象に!

■賞の趣旨

「建築と社会」という本誌の趣旨にふさわしい社会性・環境などに配慮した有意義な建築作品や建築にかかわる論文・記事などを顕彰する。選考にあたっては、会員の声を反映し、広く開かれた賞とする。

■選考対象

本誌「建築と社会」2004年1月号～12月号、及び2005年1月号～12月号に掲載された作品及び個別の論文・記事などを対象とする。(〇〇年〇月号掲載の論文・記事名及び同執筆者名を明記の上、ご投票ください)

- ・「作品作風頁」欄掲載の建築作品
- ・「本会支部作品頁及びそれに準ずる作品頁」掲載の建築作品
- ・「特集頁」「1000号記念」掲載の論文・記事ーただし特集頁全体は選考対象としないー
- ・「シリーズ頁」「寄稿頁」の論文・記事(gallery、建築の眼、研究最前線を追う、設楽貞雄外遊日記、

*アンダーラインは2004年1～12月号掲載分

REPORT、書評など)

- ・「実務の頁」の論文・記事(法令コーナー、構造の頁、設備の頁、新建材の頁)

■賞の部門

- ・作品部門 1～4点

- ・論考部門 1～4点

■選考方法

会員読者による第一次審査を経て、選考委員会による第二次審査にて決定する。

■2005年度の選考委員

井上 豊(財団法人日本建築総合試験所常任理事所長)

徳矢典子(弁護士、徳矢兄妹法律事務所)

柏木浩一(兵庫県立大学環境人間学部教授)

鈴木克彦(京都工芸繊維大学院助教授、編集委員)

■第一次審査

下記の読者アンケート様式によって、e-mail: ken-sha@aaaj.or.jp または

FAX(06-6946-6984)で投票されたものの中から、「作品」及び「論文・記事」を編集委員会において各部門10点程度を選出。これを第二次審査対象とする。

■第二次審査

第一次選考を通過した選考対象(作品部門)について、該当者に説明資料を求めることがある。

*説明資料内容

①写真5点以内②図面5点以内③周辺環境との景観的調和がわかる資料として①②以外の写真、図など計5点以内④設計趣旨(A4判1枚以内)

*説明資料提出期限

2006年2月末日

■発表と表彰

作品部門は建築主、設計者、施工者の中の代表者に賞状(記念楯)を贈呈する。論考部門は執筆者(複数の場合は代表者)に賞状(記念楯)を贈呈する。

入賞者は本人に通知するとともに、「建築と社会」2006年6月号で発表。

本号P32、33に、2004年と2005年の「建築と社会」内容一覧を掲載しました。ご参照下さい。

「建築と社会」賞
読者アンケート

送付先
(社)日本建築協会
FAX06-6946-6984
e-mail:ken-sha@
aaaj.or.jp

「建築と社会」では読者の方々のご意見を参考に、充実した誌面づくりをめざしております。2004年1～12月号、2005年1～12月号で、とくによいと思われた作品、記事、その他についてのご意見をFAXまたはe-mailでご送付下さい。このご意見は、読者と選ぶ第5回「建築と社会」賞の1次選考に反映されます。

お名前 _____

勤務先 _____

☐ とくによいと思われた作品とその理由

☐ とくによいと思われた記事とその理由

☐ 本誌についてのご意見や、取り上げてほしい内容などがありましたらご記入下さい。

第51回工高生 デザインコンクール 入選者発表

— 設計課題：コンビニエンスストア —

日本建築協会主催による平成17年の
標記コンクールの入選者が、右記のと
おり決定いたしましたので発表します。
なお、入選作品は平成18年1月号に
掲載いたします。

●応募校数 / 28校

●応募作品数 / 87点

順不同・敬称略

	氏 名	学 校 名	学年
入選・最優秀賞	竹内 悠悟	三重県立伊勢工業高等学校	3年
入選・優秀賞	森實 祐貴	大阪市立都島工業高等学校	3年
入選・優秀賞	清水 信吾	山梨県立甲府工業高等学校	3年
入 選	小幡 智一	山梨県立甲府工業高等学校	3年
入 選	小林 円	山梨県立甲府工業高等学校	3年
入 選	保坂 裕梨	山梨県立甲府工業高等学校	3年
入 選	小菅 義史	群馬県立前橋工業高等学校定時制	4年
入 選	笹下 倫加	静岡県立静岡工業高等学校	3年
入 選	宮田 大土	私立名古屋工業高等学校	3年
入 選	鬼頭 一誠	三重県立四日市工業高等学校	2年

日本建築協会後援

建築／美術フォーラム 建築／美術—出会う 何かになっていくこと

— ケーススタディとし
ての美術館 —

日本建築協会事業委員会の中の「若い
会員の集い小委員会」の委員が中心と
なった新しい企画です。

*

建築と美術は近い関係にありつつも、
異なる専門分野として成立しています。
そのため、なかなか同じ場所で議論・
交流していく環境にはありませんでした。
そこで、両者の話し手、聞き手に集ま
っていただいて、建築／美術がそれぞ
れいま何を問題としているのか、お互
いはどのように関係している／してい
ないのか。様々なことを話し合う場と
して、建築／美術フォーラムを京都に
おいて開催することになりました。

この度のフォーラムでは、建築と美術
の出会いの場としての美術館をテーマ
として、講演とトークセッションを行
います。パネリストには建築家の乾久
美子氏と金沢21世紀美術館学芸員の
鷲田めるろ氏をお迎えします。

近年、美術館は変化を遂げてきています。
これまで、建築は、後から展示するも
のとして美術作品を対象化してきまし
たが、美術が展示されることで、美術
空間が立ち上がるような、お互いの出
会いを必要とする美術館が現れている
ように思えます。建築／美術のいまを

通して、美術館がどのようにあろうと
しているのか、乾氏・鷲田氏にそれぞ
れの専門の立場からお話していただ
きます。

会場は京都の町家である杉本家住宅です。
建築も美術も特別な何かなのではなく、
日常との出会いから生まれ、歴史や文
化の文脈の中で息づいています。その
ような建築や美術を話し合う場として、
町家を日常空間として、文化的にいま
も使い続けておられる杉本家住宅での
開催を企画しました。当日は杉本家住
宅の町家空間もお楽しみ下さい。

なお、美術作家による小さな展覧会の
併設も予定しています。（廻はるよ）

日 時 2005年 12月3日(土)

12:00~14:00

プレ・プログラム

(杉本家住宅の見学など)

14:00~17:00

講演およびトークセッション

会 場 杉本家住宅(京都市指定有形
文化財)

京都市下京区綾小路通新町西
入ル矢田町116

パネリスト

乾久美子／建築家・乾久美子
建築設計事務所

鷲田めるろ／金沢21世紀美術
館学芸員

司 会 廻はるよ／京都造形芸術大学
定 員 50名

参加費 申し込み多数の場合は抽選
日本建築協会会員1,500円
一般1,500円
学生1,000円

申込み 11月25日(金)までに①~⑥
を明記の上、下記のe-mailア
ドレスにお申し込み下さい。

①氏名(フリガナ)

②住所

③連絡先電話番号及びFAX

④e-mailアドレス

⑤所属先(学校・職場名)

⑥会員・一般・学生の種別
参加のご連絡はe-mailの返信
にて行います。

申込先 e-mail archi-art-f@nifty.com
URL http://archi-art-f.cocolog-nifty.com/
※建築／美術フォーラムの詳
細についてはホームページを
ご覧下さい。

主 催 建築／美術フォーラム実行委員会
廻はるよ／阪田弘一／小池志保子

共 催 casa sugimoto実行委員会



設計・監理■
竹中工務店

設計監修■
MURANO design

内装設計■
キャリソン・アーキテクチャー社
竹中工務店、乃村工務社

施工■
竹中工務店・大成建設JV

そごう心斎橋本店

『なにわ遊覧百貨店』

この計画は、そごう創業の地で新しい時代の百貨店“なにわ遊覧百貨店”をつくるメモリアル事業です。事業実現にあたり、都市再生特別措置法に基づく、都市の活性化に繋がる公共貢献を行い、斜線制限と容積率上限281%の緩和を受け、さらに避難安全検証法（ルートC）を活用し、階段とバルコニーを効率配置して、売場面積の拡充、有効率及び安全性の向上を図っています。

『たおやかな女性美（フェミニン）』を表出する外装

外装は、エントランス周りに、グラフィックガラスとメッシュを幾重にも重ねて、透明感とやさしさを与え、昼夜で表情を変化させます。外周のウェーブパネルは、陽光を受けテキスタイルのような肌合いと深みを醸し出し、夜間はライトアップで、パネル間の蝶オブジェが華麗に浮かび上がります。これらエレメントの集積と反復が、品格と華やかさを兼ね備えた“たおやかな女性美”のイメージを御堂筋の街並に発信します。

立体的な“心ブラ”を演出する内部構成

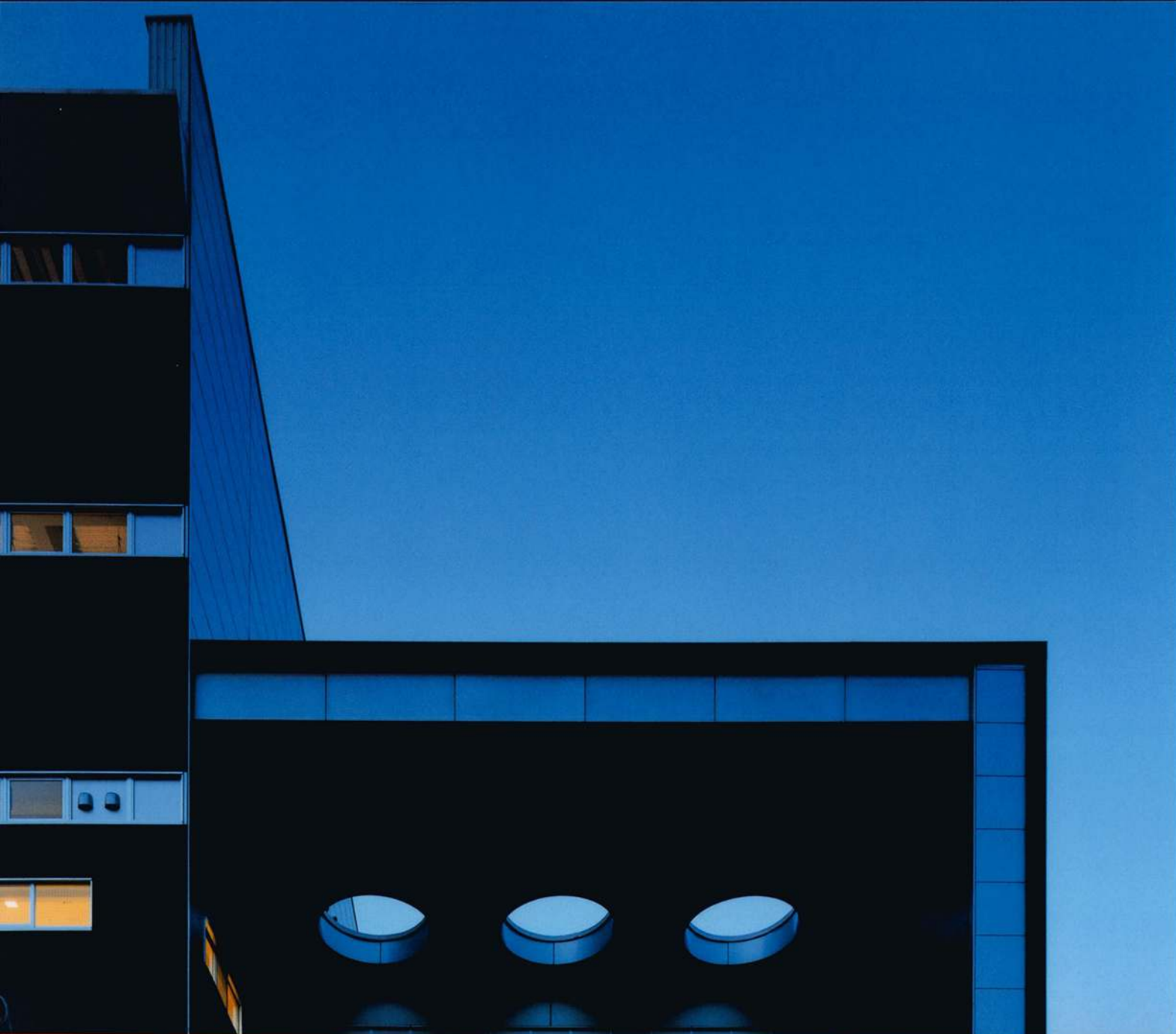
館内には、足元に御堂筋から心斎橋筋へ繋がる2層吹抜けのパサージュと、12階から上部に滝のあるアトリウムを設け、集客の核としました。アトリウムは、自然光・緑・水に溢れ、そごう劇場とそごうパークとの回遊性を創り出しています。吹抜けを介しながら、これらを上下に繋ぐ経路空間全体が、この“なにわ遊覧百貨店”で、心斎橋界隈の楽しい散策“心ブラ”を立体的に楽しめる場となることをねらっています。

（山近秀樹／竹中工務店）



所在地 —— 大阪市中央区心斎橋筋1-8-3
敷地面積 —— 4,804.10㎡
建築面積 —— 4,190.15㎡
延床面積 —— 58,175.05㎡
構造規模 —— S、一部SRC、B2、14F、P3F
工期 —— 2003年12月～2005年8月
最寄駅 —— 大阪市営地下鉄御堂筋線 心斎橋駅
撮影 —— 古川泰造







設計・監理 ■
昭和設計

施工 ■
竹中工務店

トラスコ中山株式会社 プラネット神戸

この建物は、工場や作業現場向けの工具・消耗品、ホームセンター用品など約25万アイテムを扱うトラスコ中山株式会社の物流拠点の一つである。敷地はコンテナヤード等の物流施設を中心とする臨港地区に位置するが、南側は敷地境界に沿って通るポートライナーを境に、集合住宅が建ち並ぶ住居地区が広がっている。

本計画では、作業空間としての快適性と省エネルギーによる経済性を高める施設づくりを重視するとともに、新たに展開されたプライベートブランドの精悍なイメージを建物全体で効果的に表現することを目指した。倉庫は効率的な運用のため1フロアの面積を広くとっているが、奥行きが大きくなるため暗く風通しの悪い環境となりがちである。ここでは、5層を貫く吹抜空間の「光井戸」を中央付近に2ヶ所設けて、頂部サッシュから取り込む自然光により明るさの確保を狙うとともに、吹抜の高低差を利用した重力換気により倉庫内の自然通風を促す計画とした。外観デザインでは、ポートライナーや住居地区を意識し、事務所部分や太陽光発電パネル・中庭のシンボルツリー・ブランドマークなどの重要なデザイン要素を建物南側に集中的に配置している。

(池本裕、高木秀晃、岡崎拓巳／昭和設計)

所在地 —— 兵庫県神戸市中央区港島中町1-3-5

敷地面積 —— 8,286.09㎡

建築面積 —— 4,058.62㎡

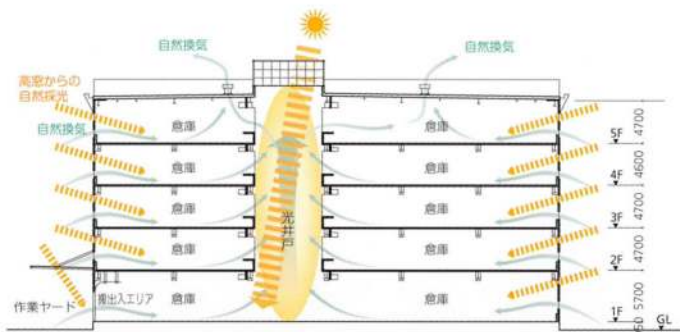
延床面積 —— 16,529.40㎡

構造規模 —— S、5F

工期 —— 2004年9月～2005年5月

最寄駅 —— ポートライナー北埠頭駅

撮影 —— 松村芳治





華鐵

設計

山隈 直人

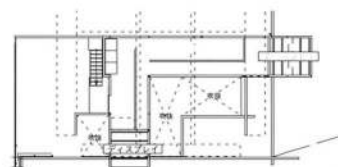
大阪ミナミの歓楽街のど真ん中の周囲とは明らかに異なる、荒々しい打放しコンクリートとむき出しのH形鋼によって構成されている巨大なパーキングビルの一角が敷地である。

このビルに我々は看板と建築の従属関係にゆさぶりをかけることを試みた。

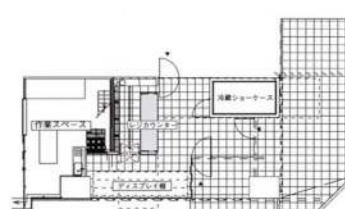
構造体は、ほぼすべてを100×100の細いH形鋼、壁は花を保管するための冷蔵庫に至るまですべてをガラスで構成し、空間の奥行きやヴォリューム感を消去することで、花のみが表層に浮かび上がるようにした。

建築の中に看板を挿入し、さらにその中に空間を挿入するという操作を顕在化させ、花屋全体を看板と見立てた。

看板が張りつく母屋はパーキングビル、発信する情報は実態としての花である。



2階



1階平面図



DATA

主体構造／鉄骨造
階数／地上2階
建築面積／68.90㎡
延床面積／103.70㎡

山隈直人

1964年 愛知県生まれ
1990年 神戸大学工学部建築学科卒業
1990年 浅井謙建築研究所
1998年 kt一級建築士事務所設立
企画編集 中村文紀（作品作風小委員会）



私の空間作法

日本建築協会 ■ 会員作品特集

2005

物語と同じで、ひとつひとつの建築にはかならず、主人公が存在します。
寄せられた写真と文章からそれが明快に読み取ることができ、私たちは、
楽しさと安らぎを覚えます。
会員各位の今後ますますのご活躍を期待しています。

企画編集 作品作風小委員会

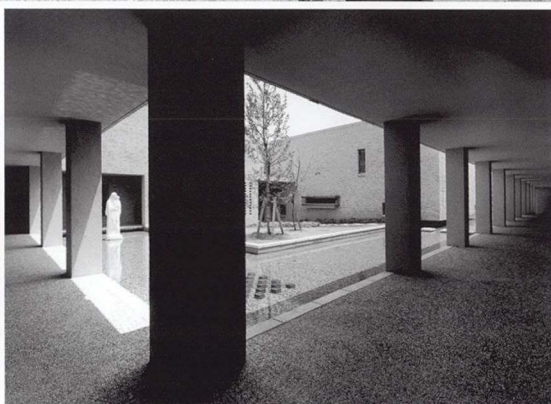
「静けさ」を創る

酒井利行 竹中工務店 大阪本店設計部



聖堂は神と向き合う場、祈りの場として「静けさ」が必要とされる。「静けさ」を創り出すには、外部の喧騒から徐々に気持ちを鎮めていく仕掛けが要る。回廊に囲まれた中庭と水音の聞こえる水盤は、外部から内部へ、日常から非日常への気持ちの切り替えのための装置である。その建物内部に入るまでの経路空間で気持ちを鎮め、内部に入ってから聖堂に至るまでの空間の広さ高さの適度のリズムは、気持ちを高揚していくように導いていく。奥へ奥へと導かれた聖堂は、視覚的に思索や瞑想を邪魔しないよう装飾を抑え、質感のある木と煉瓦に包まれた空間とした。聴覚的には適度に、水の音が聞こえてくる環境として、より「静けさ」を感じられるようにしている。

(酒井利行)



■大阪信愛女学院聖堂

所在地 大阪市城東区古市2-7-30
施工 竹中工務店
敷地面積 21,613.59㎡ (全体)
建築面積 656.57㎡
延床面積 686.68㎡
構造規模 RC、2F
竣工 2004年3月
撮影 吉村行雄

みどりに佇む

田中啓文 田中啓文総合建築研究所



この建物は旧藤田邸庭園を整備再生した公園の便所と休憩の施設です。公園の豊かな緑と和のイメージに溶けこむよう、軒を低くおさえ簡素で落ちついた佇まいとし、内部はプライバシーを考慮しながらも開放的で連続感のある空間構成としています。トッブライトからの光が溢ふれ、内から外の緑へと視線のぬける、明るく心地良いスペースとなるよう配慮しています。

(田中啓文)

■藤田邸跡公園施設棟

所在地 大阪市都島区毛馬桜ノ宮公園
敷地面積 16,421.00㎡
建築面積 63.64㎡
延床面積 50.25㎡
構造規模 RC、1F
写真撮影 河合止揚

都市に住まう

森村政悦 森村政悦建築設計事務所



滋賀県大津市、歴史的文化の薫る旧街道と、新たな幹線道路の狭間に位置する15坪の変形狭小敷地に、夫婦と子供一人の三人家族を対象として計画した都市型事務所併用住宅である。

建物は、一枚の紙を折り曲げたような連続したフレームによって、ワークスペースと居住スペースを明確に分離することで、立体的なファサードをつくりだしている。

住居部分では、外部階段の上昇と共に空間の開放率が徐々に開け、3階のリビングに到着する。

フラットスラブの天井を持つリビングは、北側テラスに開放し、刻々と移り変わる都市の風景が大津の山並みに連続する。

(森村政悦)



■大津の家

所在地 滋賀県大津市

施工 ヴィヴィット

建築面積 23.46㎡

延床面積 72.34㎡

構造規模 RC、3F、B1F

竣工 2005年3月

撮影 杉野 圭

海に望む

新居照和 & ヴァサンティ 新居建築研究所



敷地は、瀬戸内への入り口鳴門の内海、ウチノ海に面している。セミプロといわれるほど釣りの腕を持たれる主人が早期退職され、ご夫婦で第2の人生をとこの地を選ばれ、依頼された住宅である。楽しく豊かな恵みを感じさせてくれる自然と、厳しい自然を直に受ける環境である。そうした環境をできるだけ受け容れ、住まいを通して人は大きな自然の一部として全身に感じられるような内部と外部空間を生むことを意識した。

1階はテラス、縁側、和室、2階は食卓、リビング、寝室が一体的空間となって建築に包み込まれ、建築はその土地の潜在的魅力を際だたせ、地域とつながるように試みた。構造は4寸角に近い断面のH鋼を格子状に組んだ鉄骨フレームと、葉枯らしし天然乾燥させた徳島地場産の杉を組み合わせた混構造である。刻一刻と絶えず変化する海と周りの自然、大好きな映画観賞をしなくなる程の魅力を日々の生活の中で、味わっていただいている。

(新居照和)



■鳴門ウチノ海の家

所在地 徳島県鳴門市鳴門町高島

施工 アズマ建設

建築面積 105.98㎡

延床面積 144.92㎡

構造規模 S+W

竣工 2004年4月

撮影 北田英治

自然の変化に対応する半屋外空間

吉村篤一+建築環境研究所



熊野参詣道中最も早く設けられた王子の一つ、近露王子を見下ろす高台に位置し、四方は緑豊かな山々に囲まれている。雄大にして時に厳かな自然をうけとめるため、シェルターは建築の原型とも思えるような極めて単純化された形態であることが重要であると考えた。寝室と和室の上部に木造トラスを架け、山々の稜線に馴染むよう切妻屋根で包み込む。その単純な操作により出来上がった空間はシンプルではあるが、多様な環境の変化におおらかに対応しうるだろう。無柱の居間は建具を開閉させることで半屋外空間として開放され、屋外デッキと一体となる。奇しくも軸を熊野本宮へと向ける木造トラスは光を導き入れ、風が通り抜ける。

第2の人生をこの土地で自然と一体となって暮らしたい。そんな夫婦のための住まいである。

(吉村篤一、桑原年弘)



■近露王子の家

所在地 和歌山県西牟婁郡中辺路町
施工 ヤマト建設
建築面積 94.40㎡
延床面積 128.85㎡
構造規模 W、2F
竣工 2003年8月
写真撮影 大島勝寛

住まいの予測・予言・予感

河南重雄 河南建築設計事務所



えっ平屋建なんですか？と計画案を前にした施主の第一声であった。はぁ30年後を計画したんですが…経年方向に沿って 現在、15年後、30年後と変化する姿を提示してみた。（勿論植栽は徐々に大きく描いておいた）

家族構成がまだ定まらないので所要室を並べたプランではなく、その都度、やり繰りしながら住みこなし、水廻りを大きな不足の出ない様に創っておくと最終的には二人だけの住まいに対し将来のリモデル費用は軽減される。

二人… 100㎡… 充分でしょう…水田を分割した為、約30mの専用通路を経てたどり着く敷地、隣地には夏になると葉と花で埋め尽くす広大な蓮池。それだけで絵になる場所で楽しく仕事をさせて頂いた事を大変感謝している。住宅は高級品でなく、考究、恒久品とし必要以上に垢抜けしない様心掛けたい。

（河南重雄）



■ひめじ別所の家

所在地 姫路市別所町別所

施工 笹原建設

敷地面積 356.10㎡

建築面積 101.28㎡

延床面積 93.46㎡

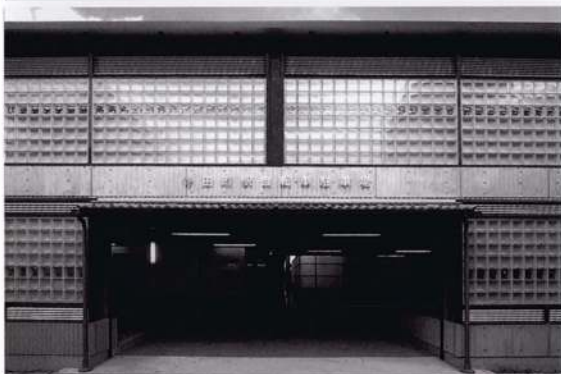
構造規模 W、1F

竣工 2005年3月

撮影 河南重雄

夢を包むガラス箱

徳岡浩二 徳岡昌克建築設計事務所



美しい都市景観創りには駐車・駐輪対策が不可欠だが、単なる収容だけの施設づくりでは、かえって美観を損なってしまう。駐輪場のデザインにあたって、少しでもまちづくりに貢献する術はないかと考えた。工業材料を組み合わせ、空間を構成し、童心に戻って自転車の楽しさを表現した。床、壁、天井を巡るガラスブロックは、自然光を透過して省エネルギーに寄与し、夜間は行灯のように街路を照らす。遮音、吸音に配慮した木片セメント板やゴムチップ床材は、リサイクル素材でシャレてみた。

(徳岡浩二)

■寺田町駅自転車駐輪場

所在地 大阪市阿倍野区天王寺町北
2-6-13

施工 小崎・寺田経常建設共同
企業体

敷地面積 474.76㎡

建築面積 291.12㎡

延床面積 563.60㎡

構造規模 S、2F

竣工 2005年2月28日

写真撮影 フォトBC

地下から伸びる縦空間の家

中尾勝悦 中尾総合建築設計事務所



『Fajita』はアメリカで育った施主のニックネームで、地域になじんだメキシコ料理をもじったものである。施主は、英語の教師で社交性に富み、本とレコードを沢山抱え、大音量でレコードを聴くのが夢であった。

敷地は、高低差のある二方道路に挟まれており、建蔽率UPと地下居室の緩和を利用して、60/150を確保した。また、バルコニーなどの容積対象外の床をフルフラットとし、屋上を加えると200%近い床を設けることが出来た。

リスニング室を兼ねた書斎は地下1階とし、ドライエリアと低い道路に面したテラスにより、採光・通風・プライバシーを確保した。1階は生活機能の場とし、2階は高い天井と眺望を確保し、人目を気にせず開放的な生活が営まれる事を願った。屋上へはバルコニーから外部階段で上がる事にし、星降る別世界をイメージした。

都市型住宅のボキャブラリを沢山盛り込み、小さな敷地に大きな夢を込めた作品になったと思う。

(中尾勝悦)



■La Casa de Fajita

所在地 大阪府枚方市香里ヶ丘

施工 樹本工務店

敷地面積 74.29㎡

建築面積 44.46㎡

延床面積 110.70㎡

構造規模 RC、2F、B1

竣工 2005年4月

撮影 大川 彪 (APA会員)



等間隔で並ぶスレートの波を音楽でいうBPMに例える。この建築では、スリット窓、ポツ窓を声や音と見立て、曲をつくるようにスレートのBPMの上に乗せ、デザインした。この建築は50坪の敷地の中に6台分の車庫空間があり、1階すべてはクライアントの趣味、スポーツカーのためのものである。車庫入口のコンクリート門型の上部には電動テントが格納できるようにデザインした。2・3階は中庭を介し南北に、パブリックとプライベートの空間をわけた。また、中庭をとることで内部に明るい光と風が差し込まれる。敷地は京浜東北線、南浦和駅と蕨駅間の線路沿い前面1方道路である。電車、車、人、それぞれの動きは多い。建築の形態はその環境条件と趣味のスポーツカーよりリズムのある形態とし、壁のデザインとすることで周辺の騒音と防災にも寄与している。

(出江 潤)



■T邸

所在地 さいたま市南区文蔵3-5-2
 施工 三和建設
 建築面積 104.84㎡
 延床面積 222.21㎡
 構造規模 RC (1F)、W (2・3F)
 竣工 2004年4月
 撮影 出江建築事務所

重なる光

魚谷繁礼・早崎伸一・平尾和洋 VIDZ/ヴァイズ建築設計事務所



京都市の比較的繁華な河原町通と、閑静な京都御所との間に立地する賃貸集合住宅である。変哲ない建物に内包される空間の深みにより、場所性ある建築の実現を図った。その内容の部分的一例としての共用部（廊下と階段）。建物中央にあるこの共用部には4つの吹き抜けと2つのスリットがある。吹き抜けを上方から湧き降りてくる光と、スリットを脇から回り込んでくる光とが重なり、共用部奥の暗がりへと浸透する。光の重なる状況は、光を導く6つの開口それぞれの外部環境、つまり時刻や天候などにより、雲流れる空が如く、刻一刻と変容し続ける。

（魚谷繁礼＋早崎伸一＋平尾和洋）



■御所東の集合住宅

所在地 京都市上京区
施工 公建
敷地面積 443.44㎡
建築面積 283.98㎡
延床面積 1,528.02㎡
構造規模 RC、7F
竣工 2005年3月
撮影 藤原弘（藤原写真工房）
池井健（VIDZ建築設計事務所）

目印の屋根

岩下博美+松井宣明 大林組本店一級建築士事務所



大学敷地内にある幼稚園です。用途・しつらえの異なる室を幾何学的なカタチで独立棟とし、それらを有機的に連結する平面構成としています。各棟それぞれに特徴的な屋根形状を持たせて、通園バスでのアプローチ時に、これらのシンボリックな屋根のシルエットが子供達を迎えます。保育室には各々にドーム屋根を設置しています。内部空間への採光だけでなく、園庭での遊びから保育室に戻る時の目印になっています。これらのかたちが、園児たちの園生活での記憶＝原風景として残ることを期待しています。

(松井宣明)

■安田女子大学付属幼稚園

所在地 広島市安佐南区安東6-824-1

施工 大林組広島支店

敷地面積 12,243㎡

建築面積 1,831㎡

延床面積 2,062㎡

構造規模 RC、2F

竣工 2005年3月

写真撮影 片岡聡一郎(西日本写真)

形態のズレをいかす

池上 明 エーアイアーキテクト スタジオ



郊外の駅から10分あまり畑や田んぼを通り過ぎたところに立地する2世帯住宅である。外観は曲面の屋根をもつ2つの形態をズレをもたせて配置している。外壁はナチュラルな板張りとセメント系パネルで対比的に構成し、色彩にも変化をつけている。形態、素材、色彩をうまく組合せることで、ファサードに変化とリズムをつけ、親しみやすくカジュアルに表現した。また、木素材を使い周辺の自然環境とのバランスを配慮した。

1階は祖父母のスペースである和室とLDKを中心に構成した。料理やお菓子を作ることを楽しみにされているご家族であり、アイランド形式のオープンキッチンを採用した。2階は階段を通して玄関とつながるフリースペースを中心に寝室を配置した。建物の形態のズレをいかしてフリースペースは高い斜天井でハイサイドライトを取り入れ明るくいきいきした空間とし、子供室には子供さんの希望であったロフトを設けている。また、フリースペースは光・風・自然を感じることができる第2のリビングともなっている。

(池上 明)



■穴虫の家

所在地 奈良県香芝市

施工 鍛冶田工務店

敷地面積 149.32㎡

建築面積 64.25㎡

延床面積 122.17㎡

構造規模 W、2F

竣工 2004年8月

撮影 杉野 圭

町屋再生

岡崎善久 岡崎善久建築設計事務所



この歯科医院は、大阪の下町にあり、二戸のしもた屋を改修・再生したものである。

長い商店街を通して、細い路地を入った奥に歯科医院がある。昔ながらの佇まいを残した町屋が街並みを形成している。その一方で、老朽化のため建て替えが進んでいるのが現状である。このような状況の中で、町屋再生は昔ながらの風景をイメージし、新たな考えで街並みを計画していくことだと思う。基本コンセプトは、「地域のコミュニケーションの場」、とする。地域に開かれた地域のシンボルとなる歯科医院を目標に計画した。

建物の解体が始まると、太い丸太の梁が現れ、いくつもの桁が架けられ、その上に束が建ち、大きな屋根を支えている。朽ちた柱・梁は取替え、利用できる柱・梁を活かし、診療室と待合室の性格の異なる空間に柱・梁とする105角の杉材を約160本挿入し新たな空間をつくり、補強した。雑そうとした街並みから「ちょっと」建物の中に入っていくと既存の躯体と新たな躯体が混じり合い、やわらかな光が入り、静寂な空気を感じる。歯科医院に訪れる人は、優しさに包まれたなかで安心して治療を受けることができる。人の集まるこの場所は、地域のコミュニケーションをより豊かにし、街に根付いた医院となるだろう。

(岡崎善久)



■町屋の歯科医院

所在地 大阪市西成区
施工 建築工事プロデュース
再生面積 100.96㎡
構造規模 W、2F
竣工 2005年2月
撮影 三宅 純

新たな風景創りに参加する

上谷重男 U建築企画室



住宅メーカーの戸建住宅と、地元業者による建売住宅で構成されている、住宅地の片隅に半円、正三角、正方形を基本の形態とした、3戸の住宅を嵌め込んでみた。

ささやかな3戸の住宅が並んだだけであるが、並び建ってみると、それまでの見慣れた風景にインパクトを与え、新たな地域風景創りに参加していることに気づく。

今後、建て替えられる建物が、地域風景を意識した建築になることを願っている。

(上谷重男)

■明石の建売住宅3戸

所在地 兵庫県明石市東朝霧丘2

施工 宗吉工務店

敷地面積 460.75㎡ (全体)

建築面積 186.76㎡ (3戸)

延床面積 339.55㎡ (3戸)

構造規模 W、2F (3戸共)

竣工 2004年1月

写真撮影 U建築企画室

自然の中の建築、建築の中の都市

塚口明洋 塚口明洋建築研究室



敷地は12番坂の通りから導入路を30mほど上ったところの大阪湾のパノラマが広がる南向き斜面にある。12番坂の通りからは建物が見えないように斜面に沿って埋め込んだ。アプローチ側はオープンな広場を、建物南側には自然の樹木を残した。樹木と建物が作り出す風景は四季、昼夜の変化によって魅力的な空気感を作り出す。建物は東西2棟に分け、アプローチに沿った長い壁はそのまま南側に延びそれに沿って大階段を設けた。2棟は地階でつながり、内外合わせて4つの階段でフレキシブルなサーキュレーションを可能にし、エンドレスの空間を作り出した。壁には開口を設けHere&Thereの関係性を強調した。各部屋には、自然を切り取る窓を設けた。

(塚口明洋十片岡英和)

■目神山の家

所在地 兵庫県西宮市
施工 まこと建設
敷地面積 1,080.00㎡
延床面積 401.63㎡
構造規模 RC、1F、B1F
竣工 2005年8月
撮影 塚口明洋

「建築と社会」誌

特集一覧 ●1983~2004

大正6年3月に誕生した日本建築協会（当時・関西建築協会）の、機関誌は「建築と社会」と改題し、今日に至っている。取り上げてきた特集テーマは下記ののと

おりで、バックナンバー購入希望は、日本建築協会事務局（TEL 06-6946-6981、FAX 06-6946-6984）まで。販売価格は1200円（送料・消費税含）。

おりで、バックナンバー購入希望は、日本建築協会事務局（TEL 06-6946-6981、FAX 06-6946-6984）まで。販売価格は1200円（送料・消費税含）。

号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1983 vol.64	● 関西の建築文化を考える	● マイコンの建築への利用	● 多様化する運動施設*	● 建築と品質管理	● 計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション	● 大阪駅とターミナルビル	● 維持管理と設備更新	● 東海への将来と文化を考える	● オフィス・インテリアの変革	● プレストレスト・鉄筋コンクリート構造	● 第31回青年技術者 大阪城国際文化スポーツホール*	● 集合住宅と生活音
1984 vol.65	● 21世紀への関西一魅力あるまちづくりを問う	● 関西の超高層ビル*	● ビルのリフレッシュ内外装補修技術の現状と展望*	● 建設産業とロボット開発*	● 住環境と法制度	● まちの活性化と商業空間 ● 京都駅南口再開発ビル*	● 消防設備のポイント	● みどりとそのとりまく人々*	● 高齢化社会と生活空間	● 床の構工法	● 第32回青年技術者 ● ディテールの思想	● 光応用システムと建築
1985 vol.66	● 大阪湾物語*	● 東海の現在と近未来	● 自由帳への道一建築家安井武雄 ● 建築物の基礎を考える	● 情報化をめぐる建築・都市事情	● ホールそれが生みだす文化一	● 建物の表情一最近の外壁材料	● 大阪国際見本市新会場	● 建築と木の演出 ● 神戸研究学園都市	● 都市と健康・スポーツ	● 接合一人体と建築にみる一断章 ● 日建設計作品*	● 村野藤吾の一断章 ● 伊勢湾をめぐる東海	● 第32回青年技術者
1986 vol.67	● これからの住空間一都市型集合住宅にみる	● 屋根一そのデザインと素材	● 現代デザイナーポストモダニズム10年 ● これからの防水工法	● インテリジェントビルの建築・設備計画	● 自治体営繕と公共建築	● 建築防災と法 ● 大阪市庁舎（第2期）	● 21世紀の住宅と設備	● 開発一その創造的仕掛けの鍵をまとめる一 ● ツイン21	● CAD一その応用と展開	● オフィス空間の構成	● 第33回青年技術者	● インテリア・イクステンションとリニューアル
1987 vol.68	● 入浴物語	● 腐食	● 創立70周年記念号	● 躍動する東海へ	● 貯蔵・保管施設 ● 大阪府立体育会館	● 室内の仕上床	● 駅	● 行政建築家の可能性	● シティホテルの設備	● 宝塚の街づくり*	● 建物と町並みの接点 ● 昭和設計作品集	● 第34回青年技術者
1988 vol.69	● ホテル物語	● 軟弱地盤と基礎 ● 文化と伝統一東海からの報告	● 設備におけるLCCとリフレッシュ ● 東海建築事務所作品集	● 建物の外装リフレッシュ*	● 都市居住	● 中国地方の展望とひろしまのまちなみ	● 21世紀への照明*	● 制振*	● 超高層住宅を考える	● 集合住宅のリフレッシュ* ● 大阪府営普	● 第35回青年技術者 ● 800号記念*	● 読者テレビ
1989 vol.70	● 夢をのせる輸送設備	● リゾート事情 ● 竹中工務店創立90周年記念	● 色の復権 ● 東海の新建築と伝統技術*	● 省力化のための材料・工法	● まちづくりと法	● 博覧会とまちづくり	● 都市環境創造と設備I	● 建築とアート	● 構造の省力化 ● 東海建設大阪支店建築設計部作品集	● 都市環境創造と設備II ● ユーザー参加のハウジング	● 第36回青年技術者	● 最近の博覧会パビリオン
1990 vol.71	● 商品化住宅のデザイン*	● ニュータウン・ルネサンス	● 東海の都市景観 ● 住居市文化会館*	● スケール感	● プレハブ住宅技術の現在と未来	● 国際花と緑の博覧会	● 建築家のための設備知識一中規模オフィスビルによるケーススタディー	● 高強度化一設計の多様化をめざして*	● やわらかな住宅管理・ユーザーの役割	● 都市のナイス・プレイス ● 兵庫県営繕の歩み	● 第37回青年技術者 ● 和歌山県の展望と景観*	● 高級感一建物の顔：感性の時代を迎えての外装材
1991 vol.72	● 新しい都市空間づくり一I一	● オフィス・プレジャー ● 新しい都市空間づくり一II一 ● 建築の風景	● 東海支部復活30周年記念	● 大阪東海上ビルディング	● 今、京都 ● 建築家のための設備知識一複合商業ビルによるケーススタディー	● 建築と土木 ● 毎日放送本社ビル ● 近畿地方建設局営繕部	● 一般号*	● 建築をめぐるトラブルとその解決 ● 建設現場のイメージアップ作戦	● 空間のアイデンティティ ● きんでん写真集 ● 大林組創業100周年記念	● 自治体住宅政策への提言 ● 大林組創業100周年記念	● 建築と土木一構造技術の世界一 ● 第38回青年技術者	● 京のかたちと色
1992 vol.73	● 夢物語一人がかわる、まちがかわる一	● こだわりのインテリア ● 近畿の郵政建築15年の歩み	● 建築とデザイン ● 東海支部一*	● 建築家のための設備知識一集合高層住宅の設備システム一	● 地球環境時代の建築	● 街創り、住まい創り一住宅・都市整備公団関西支社10周年一	● 映画の中のインテリア ● けいはんなプラザ・住友ホール	● 接着一建築分野への限りなき可能性	● 中国地方の町並みと建築家の「語り、夢、作品」*	● 国際的パートナーシップの可能性	● 福祉のまちづくり	● 第40回青年技術者 ● 環境一人にやさしい空間創造をめざして
1993 vol.74	● 第39回青年技術者 ● 東海建築事務所創立60周年記念作品集	● 大阪府営繕	● 東海的美術館・博物館	● 市民劇場の舞台設備	● 環境一限りある自然と建築とのかわり	● 都市のスカイライン	● 映画の中のインテリア ● けいはんなプラザ・住友ホール	● 接着一建築分野への限りなき可能性	● 中国地方の町並みと建築家の「語り、夢、作品」*	● 国際的パートナーシップの可能性	● 福祉のまちづくり	● 第40回青年技術者 ● 環境一人にやさしい空間創造をめざして
1994 vol.75	● コピー文化の新时代 ● 広島市の街創りアジア競技大会	● 九州のインステレーションと鏡	● 伊勢・神宮式年遷宮と神宮界隈*	● 建築のエネルギーシステム	● 明日に向かっ一会員作品*	● いま、医療施設は	● 住空間における居どころへの視点	● まちなかの看板 ● 竹中工務店の集合住宅	● 私的空間作法一会員作品	● 新しい「都市・建築」の視点*	● 建築構造と社会の接点 ● 日建設計*	● 第42回青年技術者 ● 滋賀県建築課
1995 vol.76	● 光がつくる風合の世界*	● 音一騒音から操音/創音へ*	● 飛騨・美濃一まちの活性化と地方文化*	● トイレから見た都市文化	● トイレ空間	● 接合 ● コスモタワー	● ユニバーサルデザインとは	● 私の空間作法一会員作品	● 新しい「都市・建築」の視点*	● 建築構造と社会の接点 ● 日建設計*	● ライフラインと建築設備*	● 第42回青年技術者 ● 滋賀県建築課
1996 vol.77	● 阪神大震災から学ぶ*	● 大阪府住宅供給公社創立30周年記念*	● 遠江一その地方振興と文化*	● 立体駐車場設備 ● 大建設計	● 災害！非常時に生きたる法体系 ● OAPタワーズ	● いま、プールがおもしろい	● 住まいの未来像	● マルチメディアがつくる世界	● キーコンセプトの新时代	● 最新の大規模スポーツ競技施設の設備	● 私の空間作法'96 ● 九州の元気りんくうの3作品	● 第43回青年技術者 ● 近畿地建営繕部
1997 vol.78	● 建築のロングライフ化をめざして*	● 鉄ものがたり*	● 東海支部会員作品 ● 鉄・能見一風景・文化とまちなみ一建築*	● 創立80周年記念 ● 建築と私と社会一80年の眼一*	● 木造建築物の伝統技術とその継承	● 住む空間の復興一法・制度の運用と新たな展開へ ● 住居公団関西支社	● 素材の不思議 ● 大阪ドーム	● 新エネルギー ● 住宅・都市整備公団改定への提言	● クロスワード ● 都市OSAKA*	● モザイク都市の住むかたち ● 昭和設計40周年	● 私の空間作法 ● 一会員作品一	● 第44回青年技術者 ● 京都駅ビル
1998 vol.79	● 新しいまちづくりの予感 ● 東海建築事務所創立65周年	● Concrete ● 九州とわたし、そして建築	● 東海支部会員作品 ● 信州一諏訪とその周辺一	● 街並みの演出一最近の外構材料	● 生活環境の安全・安心	● 地球環境保全と建築	● 心と体を元気にするインテリア	● 建築設備一ビルメンテナンスの立場から	● 建築への証言'98 ● 21世紀に向けて	● めれをとめる一たえる技術からかわす技術へ	● 私の空間作法 ● 2001年の医療施設	● 第45回青年技術者 ● 京とともにもんだ ● 阪神の12年
1999 vol.80	● “らしき”のデザイン ● 建築を結ぶ小粋なモノの仕掛け	● 大阪市都市整備局	● 東海支部会員作品'99 ● 北信州一街並み・風景と地域文化の再構築	● 都市のパブリック	● 関西建築界の流れと東海三三の足跡をたどる	● 大阪城天守閣平成の大改修	● 改正建築基準法一まちづくり・住まいづくりへの展開一	● 私の目でもみた環境問題	● アーバンインテリア一都市空間としてのインテリア	● 木とともに	● 私の空間作法 ● 一会員作品一	● 第46回青年技術者
2000 vol.81	● 21世紀のデザインの動向を見る ● 安井建築設計事務所創業25周年	● 中国支部一しなな海と中国地方の街づくり一	● 東海支部会員作品2000 ● 岐阜・山梨一地域の風景と新たな発展の道一	● 都市の環境デザイン	● 測る一測定方法と測定結果が意味するもの一	● スケルトン&インフィル	● 改正建築基準法一パートII一	● 100年後へのメッセージ ● 日建設計創業100周年	● 来世紀に引き継ぐ一わがもの、このころ一	● 時間	● 私の空間作法 ● 21世紀の高齢者の居住環境	● 第47回青年技術者
2001 vol.82	● エス・ティ・ティファントリーズ	● 21世紀の建築設計教育	● 東海支部会員作品 ● 岐阜・大垣	● I T社会におけるきずな	● 自然素材をめぐる「もの・わざ・ひと」	● 成熟社会をささえるまちづくり	● 現代の日本の空間・文化を探る	● 環境一近未来に向けて今できること一 ● 大建設計一作品集1996-2001一	● 建築をささえるセンサー	● 建築とボランティア	● 私の空間作法 ● 一会員作品一	● 第48回青年技術者 ● NHK大阪放送局 ● 大阪歴史博物館*
2002 vol.83	● 国土交通省近畿地方整備局営繕部*	● 再生・リサイクル	● 東海支部会員作品 ● 愛知・名古屋	● 生活環境の安全・安心 ● パート2一	● 塗装のいろいろ	● 都市再生に向けた建築基準法改正のあり方	● いま、インテリアデザインは ● 漆 ● リバースレイス	● 建築をささえるセンサー	● 建築とボランティア	● 時を超えて一サステナブルエンジニアリングの現在一	● 私の空間作法 ● 一会員作品一	● 第49回青年技術者 ● 大阪市中央公会堂
2003 vol.84	● 東海建築事務所創立70周年	● 九州の地域づくり・まちづくり	● 東海支部会員作品2003 ● 愛知・名古屋一この地の文化・芸術と建築・街づくりを考える一	● サステナビリティ一次世代に引き継ぐ都市・建築・暮らしのデザイン一	● 建築と五感	● 都市計画法及び建築基準法等の改正	● コンバージョン一インテリアから発信するまちのみ一	● 介護と建築・設備	● 建築とノスタルジー一建築の主観的価値について一	● 力と素早くつき合う方法	● 私の空間作法 ● 一会員作品一	● 第50回青年技術者 ● 十哲彰50年
2004 vol.85	● 大阪市住宅局	● 都市緑化	● 東海支部会員作品 ● 愛・地球博*	● 省リスクな「まち再生」	● リニューアルの技	● 地域住民主体のまちづくりと支援制度	● Product Design+1	● 銭湯一心地よさを求めて一	● 建築家とは何か	● 巨大地震にそなえて	● 私の空間作法 ● 一会員作品一	● 第51回青年技術者

*は欠号

京都市斜面地等における建築物等の制限に関する条例（以下「斜面地条例」という）は、建築基準法第50条の規定に基づくもので、主に京都市の市街地を取り囲む東山、北山、西山の三山の裾野や里山の周辺に位置する地域を対象として、斜面地に建築物等を建築する際に一定の制限を行い、景観の維持・保全を図るとともに、斜面地の安全性を確保することを目的として、平成17年8月8日から施行しているものである。

また、建築基準法第52条第5項の規定に基づく住宅の容積率算定の基礎となる地盤面については、斜面地条例を改正し、追加して定めることとしている。（平成17年12月15日施行予定）

条例制定の経緯

本市では、「保全・再生・創造」を基本にまちづくりを進めているが、永い歴史に支えられた自然的風土である三方の山々、文化財や史跡の点在する山麓部、そしてその山裾に広がるゆとりと景観に恵まれた住宅地の一帯については、古都保存法に基づく歴史的風土保存区域や風致地区条例に基づく風致地区等の指定を行い、自然と歴史的な景観の保全に努めている。

しかしながら、近年、三山の裾野等の斜面地において、斜面地の特性を利用した大規模なマンション等が計画され、見かけの高さや規模が平地に建てられる場合と比較して過大なものとなることから、今回の斜面地条例の制定に至ったものである。

これまで首都圏を中心に、いわゆる地下室マンションを規制するため階数の制限等が行われているが、階数の制限では斜面を駆け上るような建て方を防止することができないことから、建築物の接地位置の高低差制限を設け、建築物の建てられる範囲を制限することとした。

条例の概要

1 対象となる敷地

斜面地または段地である建築物の敷地で、その高低差が3mを超えるものを斜面地等と定義し、斜面地条例の対象とする。

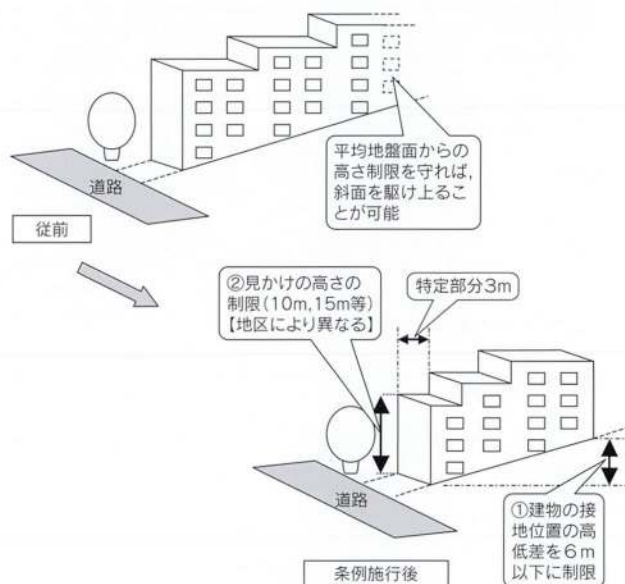
2 建築物の構造の制限

(1) 適用区域

用途地域	京都市都市計画高度地区
第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域	すべての区域
第一種中高層住居専用地域、 第二種中高層住居専用地域のうち	15m第一種高度地区に指定されている区域
第一種住居地域、 第二種住居地域のうち	15m第二種高度地区に指定されている区域
近隣商業地域、準工業地域のうち	15m第三種高度地区に指定されている区域

(2) 制限の内容

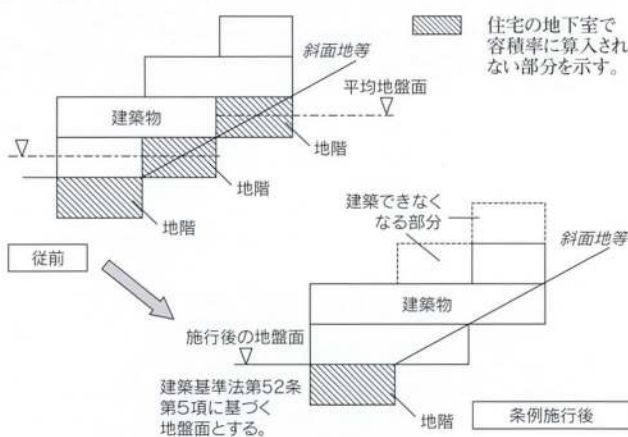
- ① 建築物の接地位置の高低差制限……建築物が周囲の地面と接する位置の高低差は、6mを超えてはならないものとする。
- ② 特定部分の高さの制限……斜面地等において、建築物の特定部分（建築物の前面道路に面する外壁またはこれに代わる柱の面からの水平距離が3m以内の部分）の最も低い接地位置からの高さは、当該特定部分が存する地域における高度地区等で定められた高さの



最高限度*を超えてはならないものとする。

最高限度* 建築基準法第68条、京都市風致地区条例、京都市市街地景観整備条例及び地区計画において、別に建築物の高さの制限が定められている場合は、その最高限度を含む。

3 住宅の用途に供する建築物の容積率の算定に係る地盤面の設定
都市計画区域内の斜面地等において、住宅の用途に供する建築物の容積率の算定に係る地盤面は、最も低い接地位置の高さにおける水平面とする。



景観の保全と斜面地の安全に踏み出す

建築物の接地位置の高低差制限や特定部分の高さの制限、並びに住宅の用途に供する建築物の容積率の算定に係る地盤面の設定により、三山の裾野等に位置する斜面地等において、周辺の市街地環境と調和しない大規模建築物の建築を防止し、斜面地の安全性の確保に寄与するものと考えている。

(すぎうら しんいち)



建物は、図1および写真1に示すように、半径約7.6mの半円形をした平面形状の2階建ての店舗部分と、一辺が12mの正方形をした平面形状の地下1階、地上2階建ての倉庫・事務所部分からなり、この二つが階段および渡り廊下で接続されている。

この建物の設計にあたり、写真2に示す店舗部分は開放性の高い空間とすることが要求された。これに対して、フラットスラブと丸鋼を用いた鉄骨無垢柱の組み合わせで店舗部分を構成することを提案した。

ここでは、この鉄骨無垢柱を用いた建物の設計について紹介する。

構造設計概要

半径が約7.6mの半円形の店舗部分の床は版厚250mmのフラットスラブとし、そのフラットスラブを支持する柱には、直径100φの丸鋼を用いた鉄骨無垢柱を半径約6.0mの位置に円弧状に7本配置することにした（写真3）。

鉄骨無垢柱に用いた丸鋼は直径が22φ～200φまで種類が豊富であり、同じ直径の円形鋼管柱よりも5～10倍の断面積が確保できるため、直径が細い柱であっても高い軸力を支持することが可能である。フラットスラブ（版厚250mm）から鉄骨無垢柱への軸力の伝達は、柱に溶接された直径300φ、板厚25mmの鋼製キャピタルによ

り行われる。

一方で、鉄骨無垢柱は柱径を小さくするため、この柱に水平剛性および水平耐力を期待することは難しい。したがって、他に耐震要素をバランス良く配置して建物の剛性と強度を確保する必要がある。本建物では、半円形の弦の部分に配置されたRC造の耐震壁（壁厚250mm）を耐震要素とし、さらに、店舗部分と倉庫部分を渡り廊下を介して緊結することで建物全体のバランスを確保した。渡り廊下には、この二つの部分を一体化するのに必要な強度と剛性を付与している。

鉄骨無垢柱の製作においては、一般の鋼管柱と異なり、現場接合は適切ではない。これは、部材が無垢材であるために全断面にわたる溶接接合がほぼ不可能であるため、さらに、溶接による歪や施工誤差による上下階の柱の芯ズレによって生じる偏心曲げが柱の座屈耐力を急激に低下させるためである。したがって鉄骨無垢柱を用いる場合は、写真4に示すように全階にわたる通柱とするべきであると考えている。鋼製キャピタルについては、柱を貫通させることで接合部のディテールを簡潔にすることができる。

最近、建築関係の雑誌にも鉄骨無垢柱を用いた建築が多く紹介されている。柱はできるだけ細くしたいという設計者の要望に対して、鉄骨無垢柱は一つの解を与えているのだと思う。（しらが せいいち）

■建築概要

所在地 奈良県香芝市
設計 建築：FKOアーキデザイン
構造：北條建築構造研究所
建築面積 268.35㎡
延床面積 437.45㎡
階数 地下1階、地上2階
構造 鉄筋コンクリート造、一部、鉄骨造
竣工 2005年5月



図1 平面図



写真1
建物外観



写真2
店舗部分内観



写真3 躯体の様子



写真4 鉄骨無垢柱の建方状況

ニューヨークを駆ける



二十世紀都市文明の先端で

石田潤一郎

大正元年12月4日(水曜日)

市岡君来訪共にセントラルパーク、メトロポリタンミュージアムを見る。絵画彫刻古器物類沢山にして中々一日半日の業にあらず。バーダービルトの出品、モルガンの出品一枚幾十何百万の額面金にあかした品々。今に世界の美術品は悉皆アメリカに集まるべし。恐ろしき事哉。

日暮公園の貯水池畔を散歩す。周囲の馬場に男女の肥馬に跨て駆廻るもの数多し。是富豪の食前運動にして、一汗かいて帰って風呂に入り楽しき晩餐の卓に向ふ準備なりと云ふ。扱々羨しき氣をする。吾等も運動は充分なり(足が痛む程歩行き廻って)近所の安メシ屋にて晩餐を済して帰宿して風呂にでも這入らものと瘦脛を鞭打って駆け出したり。

一寸今晚は時間があるから、アメリカに来てからの吾等の感想を書いてみよー。

先建築家としての見地は、いくら負けぬ氣になっても又々日本はアメリカの足元にも追付かぬ。残念ながら拙も拙も殊に工業に於て然り。建築の如きは日本でも中々謾り難いものもあるけれども、其規模の小なる事御嘶にならぬ。毛唐のする事は飽迄大袈裟なり。一の家か一の市街か分からぬ位大きなもの斗りだ。今迄写真等で見たものとは丸で違ふ。而るにルナパークの様なものになると、殆ど張ボテにてペンキ仕事のみと云ふてもよい。劇場の如きは坪数極めて少なくして観覧席とステージのみなり。工場の如きは頗る粗末なものなり。中以下の住宅の如きは建築は至てお手軽にして、暖房電灯通風器械に属するものは備わらざるものなし。…(中略)…

市中を歩くと何辺見ても東西南北が分からぬ。おっぱなされては拙も分からぬ。帰る事は出来ぬ。男も女も奇麗なもんだ。殊に女は上手にお化粧をして活潑にしゃんしゃん歩く様子はいきいきして居る。ちと内のものにも見せたいけれども真似はさしたくない。僕の見た処ではアメリカの女は皆日本の芸者風の様に見ゆる。夕方から掛けて女の外出の多い事驚く斗りじゃ。西部は男女ひっついて歩く



ものが多く、東部に来てみると存外別々が多い様に見ゆる。寒い為か毛の襟巻に毛のマフロの俵程の大きなものをぶら下げて歩む。

ニューヨークは殊に盛大である。市街は三層、即エレベーター(高架鉄道)、市街電車、サブウェー(地中鉄道)。此三層の交通機関が終夜運転しても運び切れぬ程人が出歩く。家が二十階三十階。今迄の第一がシンガービルディング(四十四階)なりしが、今又建築中のウォールウォースビルディング、是が五十二階と云ふ摩天楼である。

大正元年12月5日(木曜日)

午前十時リバーサイドドライブを散歩す。第一に南北戦争の招魂碑を見る。第二にグラント將軍の墓に詣る。外部は凡て花崗石造り、内部は大理石製にして莊嚴なるものなり。内部に入れば窓は紫色の薄きカーテンを掛けて日光を蔽い、薄暗くして奥床しき心地人をして思わず敬虔の念を禁ぜざらしむ。第三にはコロンビア大学の図書館を見る。例によって大理石の丸柱によきによきと立て金鍍金のキャピタル人目を眩ます。

午後一時一旦帰宿。二時頃市岡君来訪。相携てリバーサイドドライブに出て自動車に乗て市中を見物す。有名なる米国が誇て世界第一と称するヒフスアベニューを端より駆けて通る。其繁華雑踏名状すべからず。自動車が次から次と行列して繋てコーナ、コーナを人が横切ることが出来ぬ為、立番の巡查が時々馬車自動車を止める。バンダービルドやカーネギーの邸宅の前を通ってメトロポリタンビルディングに登る。料金一人五十銭。四十七階六百何十尺の摩天楼。人間界の小さき蟻の行列を見卸す。真に寸馬豆人只うようよと奔走する様のあわれに見ゆる事。(後略)…

設楽貞雄は、大正元年11月29日、ニューヨークに到着する。この日から、12月24日にロンドンに向かうまで、途中3日間ワシントンに足を延ばすほかはニューヨークに滞在する。52日間のアメリカ滞在期間の半分近くをニューヨークに充てていたわけであり、いかにこの都市を重視していたかがわかる。「富めるアメリカ」をすでに3週間以上経験していても、その中心のニューヨークに身を置くことで、この国の底知れぬ豊かさ、圧倒的な工業力を痛感させられていく。納得できないものも感じつつ、「日本はアメリカの足元にも追付かぬ」と感嘆を繰り返す日々が日記につづられている。

今回は、まとまったアメリカ観を述べた12月4日の項と、「メトロポリタンビル」に登った翌5日の項を紹介する。設楽らしい闊達な筆の運びで描写される1912年のニューヨークの街頭風景を楽しんでいただければよいのだが、「建築の如きは日本でも中々謾[あなど]り難いものもあるけれども、其規模の小なる事御嘶にならぬ」といった感想や、「中以下の住宅の如きは建築は至てお手軽にして、暖房電灯通風器械に属するものは備わらざるものなし」といった観察は、当時の日本の建築界を逆に照射するものとして貴重である。

あるいは割愛した6日の項にある「米国は此勢で進んで行けばどんな国になるか。恐るべき国民ではあるけれども節制なき金持ち程危険なるものはない。今にして精神界の修養を忽[ゆるが]せにし物質的文明にのみ走ては終いには恐るべき結果を来たしはせずや等と考えるのは貧乏人の岡焼かもしれぬ」は、今日、浮上しているアメリカニズムの文明史的問題を予見した言葉として興味深い。

文中に出てくる摩天楼について補足しておく。文中「今迄の第一」として紹介される「シンガービル」は1908年の竣工で204メートル。12月5日に訪問するメトロポリタン生命保険ビル=メト・ライフ・タワーは1909年の竣工で213.5メートル。こちらの方が高いのだが、時計塔で数字を稼いでおり、有効階の最高高さではシンガービルに及ばなかった。設楽はシンガービルにも登っているが、入場料のことしか記していない。マンハッタン島の南端(例のWTCの隣地)にあったシンガービルにくらべて、マジソンスクエア・パークに面するメト・ライフ・タワーの方が眺め甲斐があったようである。

(京都工芸繊維大学教授)

第17回フォーラム「時空を読むアーバン・デザイン」

NPO法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫が主催する「すまい・まちづくりフォーラム関西21」の秋季テーマは、「時空を読むアーバン・デザイン」。

平安女学院大学教授・中林浩氏をコーディネーターに、歴史的建造物の町のなかでの意味を、また自然環境・地形をふまえたデザインのあり方を語り合う。

日時 2005年11月19日(土) 13:30~16:30

会場 梅田スカイビルタワーウエスト22階会議室
大阪市北区大淀中1-1-88

JR大阪駅北出口から徒歩10分

講師 〈歴史が創り出すまち〉
中川 理 (京都工芸繊維大学教授)
〈地形とまちのかたち〉
長坂 大 (奈良女子大学助教授)

参加費 1000円 (文庫会員と学生は500円)

定員 100名 (先着順)。当日受付もあり。

申込み e-mail: npo@n-bunko.org または、
FAX 0774-73-5701にて西山文庫へ。

講演会「住宅のストック・アンド・フロー」

ストック・アンド・フローとは、既存の建築に付加価値を持たせ長く使われること。大阪府建築士会主催で、住宅建築で活躍し、TV番組「大改造!! 劇的ビフォーアフター」にも出演している4人の講師が、建築士と住まい手が取り組むべきストック・アンド・フローを語る。参加費無料。

日時 2005年11月18日(金) 17:00~21:00

会場 梅田スカイビル 10階 アウラホール
大阪市北区大淀中1-1-88

講師 西濱浩次 / 株コンパス建築工房
原田 彰 / 株原田彰建築設計事務所
福田由利 / アトリエ・ドウ・フクダ
萬川幹夫 / 萬川建築設計事務所

申込先 社大阪府建築士会 TEL 06-6947-1961

「人より器、器より人…」表彰式・記念講演会で語る

第12回大阪・心ふれあうまちづくり賞と第25回大阪都市景観建築賞の表彰作品が決定し、その合同表彰式・記念講演会が開催される。入場無料。定員500名。

日時 2005年12月6日(火) 14:00~16:00

会場 大阪市立阿倍野区民センター
大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118
地下鉄谷町線「阿倍野」駅下車、6番出口

●記念講演「人より器、器より人…」

講師 牧ローニ (グラフィックデザイナー)

1937年大阪生まれ。合名会社「おぼけ箱」代表。「だれでも乗れる地下鉄をつくる会」など様々な障害者市民運動を展開している。現在NHK教育テレビ「きらっといきる」にレギュラー出演中。

講座「家族をつくった家、家がつくる家族」

武蔵野美術大学が社会へ向けての公開講座を企画して2年目。10月19日から水曜日に講座が始まっている。

■「家族をつくった家、家がつくる家族」一建築家を父に持つ建築家が育った「家」について考察し、個人邸から公共建築の設計まで、建築家の社会的活動の広がりについて語り合う。

芦原太郎 (芦原太郎建築事務所・芦原建築設計研究所代表) + 立花直美 (武蔵野美術大学教授・都市生態学)

日時 2005年11月16日(水) 18:30~20:30

会場 武蔵野美術大学新宿サテライト
新宿センタービル9階 (新宿駅西口15分)

定員 90名 (定員になり次第締め切り)

受講料 1000円、学生500円 (当日会場で支払い)

申込み ハガキ、FAX、電話、e-mailで受け付け。

住所・氏名・希望講座名・電話番号を書いて、武蔵野美術大学企画広報課 (TEL 042-342-6016、FAX 042-342-6094、kouza@musabi.ac.jp、〒187-8505 東京都小平市小川町1-736) へ。

ロレアル賞連続ワークショップ2005「色」ー現代建築の“白”、美術の“白”ー

色をめぐる科学者と芸術家の対話と実演を特色とするロレアル賞連続ワークショップが開かれる。

会場 東京デザインセンター・地下2階
ギャラリーホール TEL 03-3445-1124
東京都品川区東五反田5-25-19

参加費 一般/各回1000円、学生/無料

申込み 希望の回、名前(フリガナ)、会社名・学校名、部署・学科、住所、TEL、FAX、e-mailを明記の上、主催のロレアル アーツ アンドサイエンス ファンデーションへ e-mail

(makamura@gol.com) か FAX (03-5308-2667) で申し込む。定員になり次第締め切り。

①2005年11月24日(木) 18:30~20:30
「東京を色から読む」森川喜一郎 (建築研究家) / 井伊あかり (服飾文化論研究家) / 永山祐子 (建築家)

②2005年11月25日(金) 18:30~20:30
「錯視 アート? サイエンス? 心理学? 脳神経科学?」北岡明佳 (立命館大学心理学助教授) / 坂井克之 (東京大学大学院認知言語神経科学助教授)

③2005年12月9日(金) 18:30~20:30

村野藤吾建築設計図展

京都工芸繊維大学が所蔵する5万点にも上る村野藤吾の建築設計図の中から、第7回には戦後の公共建築作品10点を選び、写真や模型などと併せて展示する。また、12月3日にはシンポジウムも開催。いずれも入場無料。

■「村野藤吾と公共建築」展

会期 2005年11月26日(土)~12月25日(日)
10:00~17:00 月曜日休館

会場 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
京都市左京区松ヶ崎
京都市営地下鉄「松ヶ崎」駅下車、徒歩10分

展示 横浜市庁舎、尼崎市庁舎、宝塚市庁舎、米子市公会堂、小倉市民館、京都府会館コンペ案などの建築設計図、写真、模型

■シンポジウム「村野藤吾と公共建築」一申込不要一

日時 2005年12月3日(土) 14:00~17:00

会場 京都工芸繊維大学 東1号館E111講義室

定員 150名 (当日先着順)

パネラ 鈴木博之 (東京大学大学院教授)
高橋誠一 (第一工房代表)
石田潤一郎 (京都工芸繊維大学大学院教授)

司会 中川 理 (京都工芸繊維大学教授)

問い合わせは、京都工芸繊維大学「村野藤吾の設計研究会」(e-mail: kasahara@kit.ac.jp) へ。

ART BOX NAGOYA 2005

16回目の「ART BOX NAGOYA」。竹中工務店名古屋支店の設計部員が今年のテーマ「風 Fu」に挑む。

会期 2005年11月29日(火)~12月3日(土)
10:00~18:00 (最終日16:00)

場所 竹中工務店名古屋支店・地下1階 (入場無料)
名古屋市中区錦1-18-22 名古屋ATビル

テーマ 「風 Fu」ー空気の動き、心の動き、意志や感情を表す体の動きを表す言葉から「環境」について考えるー

内容 (A) ART BOXー30cm立方にこめる「ものづくり」の想い
(B) MASS ARTー設計部員全員の集合作品。白い木綿布 (ガーゼ) による造形

江里佐代子「截金の世界」展

截金（きりかね）は極薄の金銀箔を数枚焼き合わせて厚みを持たせ、竹刀で線や様々な形に切り器物の表面に貼っていく工芸技法で、日本では平安から鎌倉時代の仏像や仏画の衣文など仏教美術に隆盛をみた。

江里佐代子氏は平成14年、重要無形文化財〔截金〕保持者（人間国宝）に認定されたが、本展覧会では、仏師・江里康慧氏との仏像制作から最新の截金作品まで、衝立・屏風・平面作品・飾窓・盒子・香盒など約130点を紹介する。



截金彩色スクリーン
遊万象（1998）

会 期 2005年10月8日～11月23日（水・祝）

9：30～17：00 月曜日休館

会 場 佐川美術館 TEL077-585-7800

滋賀県守山市水保町北川2891

入館料 一般1000円、高大生600円、小中生300円

なお、本展は今年1月より静岡県佐野美術館、北九州
市立小倉城庭園など4館を巡回してきたものである。

「ケーテ・コルヴィッツ展」



《カール・リープクネヒト追悼》1920年、木版
KÄTHE-KOLLWITZ-MUSEUM BERLIN

ドイツ帝国成立から二つの世界大戦にわたる激動の時代を生き、ナチスへの抵抗を貫いた女性ケーテ・コルヴィッツは、貧困や死に苦しむ民衆の姿を表現し続けた彫刻家であった。戦後60年、大規模な回顧展が日本を巡回し、11月から12月にかけて姫路市立美術館で開催される。

会 期 2005年11月2日（水）～12月24日（土）

10：00～17：00 月曜日、11/4、11/24は休館

会 場 姫路市立美術館 TEL0792-22-2288

姫路市本町68-25

入場料 一般1000円、高大生600円、小中生200円

出 品 版画、素描、彫刻をあわせて165点を展示。
「左向きの自画像」「種を粉に挽いてはならない」「女と死んだ子ども」「ピエタ」「耕す人」「死が少女を膝に抱く」「嘆き」ほか

招待券希望者は日本建築協会（TEL06-6946-6981）へ。

「偉大なるシルクロードの遺産」展—京都文化博物館—

アレキサンダー大王、チンギスハンそしてティムール王が駆けぬけたユーラシアの大地をつなぐシルクロードの中核地帯、ウズベキスタン、タジキスタンを中心に、紀元前から近代に至るまでの文明の足跡を追う。

会 期 2005年10月29日（土）～12月4日（日）

10：00～18：00 月曜日休館

会 場 京都文化博物館・4階特別展示室

京都市中京区三条高倉

入場料 一般1000円、高大生700円、小中生400円

招待券希望者は日本建築協会（TEL06-6946-6981）へ。

展 示 タフティー・サンギーン遺跡の金製品、タジキスタン国立考古博物館の所蔵品、ダルベルジンテバの出土品、ベンジケントの貴族の館の壁画、ソグド人遺跡の出土品、イスラム様式の水鏡・陶器、ウズベキスタンの宝飾品



牛鹿形リュトン（銀、鍍金）アケメネス朝ペルシャ
MIHO MUSEUM所蔵

「魅惑の17-19世紀フランス絵画展」



ギュスターブ・クールベ《出会い、こんにちはクールベさん》1854年
©Musée Fabre, Montpellier Agglomération-cliché Frédéric Jaulmes

南フランスの町モンペリエに、19世紀のフランス美術を中心に優れたコレクションを誇るファブル美術館がある。1828年、コレクターにして画家でもあったフランソワ＝グザヴィエ・ファブルのコレクシ

ンをもとに開館した。

現在、同美術館の修復工事が進行中で2006年までギャラリーが閉鎖されているため、主要作品がまとまった形で大阪市立美術館で紹介されることになった。

会 期 2005年11月15日（火）～12月25日（日）

9：30～17：00 月曜日休館

会 場 大阪市立美術館（天王寺公園内）

観覧料 一般1300円、高大生900円

中学生以下と大阪市内在住の65歳以上は無料

出 品 《賢明の寓意》シモン・ヴァーエ、《眠るサテュロスのいる風景》ニコラ・プッサン、《両手を組み合わせた少女》ジャン＝バティスト・グルーズ、《室内のアルジェの女性たち》ウジェーヌ・ドラクロワ、《朝、霧の効果》ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー、《沼》テオドール・ルソー、《黒いナイフのある静物》アンリ・マティスなど約90点

招待券希望者は日本建築協会（TEL06-6946-6981）へ。

ベトナム近代絵画展

ベトナム国立美術館の所蔵品約40点を中心に、ホーチミン市美術館などのコレクションに加え、日本の福岡アジア美術館やコレクターの所蔵品を集めた。

会 期 2005年11月5日（土）～12月11日（日）

平日／10：00～19：00、土日祝10：00～18：00

毎週月曜日休館

会 場 東京ステーションギャラリー

JR東京駅・丸の内中央口・赤煉瓦駅舎内

入場料 一般800円、高大生600円、小中生400円



レ・フィ・ホア《協同組合の女性主任》1970年
漆絵 ベトナム国立美術館

「フェデリコ・エレロ展」

「僕は、その小さなことが、大きなことを変えてしまうかもしれないという、そういった現象に興味があるのです」と語るフェデリ

コ・エレロは、1978年コスタリカのサンホセ生まれ。ウィリタス

大学で建築を学び、さ フェデリコ・エレロ《トイレのらに教育、絵画を学ぶ。プロジェクト2002年》、コスタリカフェデリコ・エレロにとって絵画とは、何かの表面に顔料を置く行為すべてであり、興味は、日常の生活の中に絵画を持ち込む行為そのものにある。

会 期 2005年10月29日（土）～2006年2月26日（日）

11：00～19：00（水曜日は21：00まで）

月曜日休館（12/5、12/12、12/19、12/26、1/9は開館）、12/31～1/4は休館

会 場 ワタリウム美術館 TEL03-3402-3001

東京都渋谷区神宮前3-7-6

入館料 大人1000円、学生（25歳未満）800円

理事会

第4回常任理事会

9月28日(水) 15:00~16:45

出席者 佐野会長ほか6名

- 議事 (1) 平成17年度収支予算執行状況について
 (2) 後援・協賛名義の使用について
 (3) 青年技術者募集について
 (4) その他(創立90周年事業、等)

役員会

第1回支部長会議

9月2日(金) 15:40~17:30

出席者 佐野会長ほか7名

- 議事 (1) 各支部の活動状況報告
 (2) ホームページ(支部ページ)について
 (3) 「建築と社会」支部特集号について
 (4) 支部における実務講習会の開催について
 (5) 会員増強対策について
 (6) 会員名簿について
 (7) その他(90周年事業・会員交流会)

編集委員会

第6回編集委員会

9月14日(水) 18:00~20:00

出席者 設楽委員長ほか5名

- 議事 (1) 10月号「構造の過去から未来へ」特集報告
 (2) 11月号「私の空間作法」特集報告
 (3) 12月号「第52回青年技術者」特集報告
 (4) 1月号「六甲道再開発」特集の企画
 (5) 2月号「地方空港の時代」特集
 (6) 作品作風の報告
 (7) 広告企画の報告
 (8) 来年の表紙
 (9) 第5回読者と選ぶ「建築と社会」賞
 (10) 収支状況報告

第3回施工材料分科会

9月8日(木) 17:00~18:00

出席者 平田氏ほか4名

- 議事 (1) 9月号施工材料特集の反省
 (2) 今後の分科会開催日について

(3) 新幹事選出について

第6回法令分科会

9月7日(水) 14:00~15:20

出席者 溝上幹事ほか4名

- 議事 (1) 「法令コーナー」の企画
 (2) 来年の法令特集に向けて
 (3) 情報交換

第6回作品作風小委員会

9月22日(木) 19:00~20:00

出席者 中村副委員長ほか8名

- 議事 (1) 作品の選定
 (2) 作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
 (3) 「gallery」掲載報告・予定
 (4) 前回の編集委員会の報告

第6回広告企画小委員会

9月14日(水) 17:00~18:00

出席者 設楽委員長ほか3名

- 議事 (1) 10月号「構造の過去から未来へ」特集報告
 (2) 11月号「私の空間作法」特集報告
 (3) 12月号「第52回青年技術者」特集報告
 (4) 1月号「六甲道再開発」特集の企画
 (5) 2月号「地方空港の時代」特集
 (6) 年度後半の単発広告頁ものの企画
 (7) 広告企画
 (8) 収支状況報告

「六甲道再開発」特集打合せ

9月12日(月) 18:00~20:30

出席者 設楽委員長ほか2名

- 議事 1月号「六甲道再開発」特集の企画

事業委員会

第4回情報見学小委員会

9月8日(木) 18:00~19:00

出席者 松浦副委員長ほか9名

- 議事 (1) 前回見学会報告 第22回茶室見学会の結果
 (2) 次回見学会報告
 (3) 今後の見学会について
 (4) その他の企画について

見学会

第22回 学会・協会共催 茶室見学会

9月3日(土) 14:00~17:00

場所 大徳寺 孤蓬庵「忘筌」/玉林院「養庵・霞床席」

参加者 39名

出版委員会

第5回出版委員会

9月15日(木) 18:00~19:00

出席者 上原委員長ほか8名

- 議事 (1) <プロのノウハウ>と特装本の経過報告
 (2) 今後のテーマと執筆者選定
 (3) その他

建材委員会

工場・ショールーム見学会

9月13日(火) 8:15~19:00

場所 三洋電機ソーラーアーク→日本インシュレーション(株)PRセンター研究室(岐阜県)→同北勢工場(三重県)

参加者 29名

青年技術者選考委員会

第52回青年技術者選考委員会

9月28日(水) 17:30~20:30

出席者 設楽委員長ほか9名(末包委員は事前審査)

- 議事 第52回青年技術者選考

2005年建築関係団体合同忘年懇親会

第1回実行委員会

9月16日(金) 15:00~16:00

場所 大阪府健康会館 5階 1号会議室

出席者 松浦実行委員ほか3名

- (社)日本建築協会ほか3団体
 議事 (1) 2005年建築関係団体合同忘年懇親会開催
 (2) 第2回実行委員会の開催について

入会者(敬称略)

〔個人正会員〕

- | | | |
|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 池内 匠
(清水建設 関西事業本部) | 市村 朋子
(株東畑建築事務所 大阪) | 入江 真吾
(株大林組 本店) |
| 内井 郁
(株佐藤総合計画 関西事務所) | 惠本 涼太郎
(株日建設計 大阪) | 大平 直子
(鹿島建設 関西支店) |
| 小田 久人
(新晃工業 大阪) | 柿本 忠則
(株竹中工務店 広島支店) | 柏原 健二
(新晃工業 大阪) |
| 加登 美喜子
(株日建設計 大阪) | 桑島 由美子
(有精李舎) | 酒井 利行
(株竹中工務店 大阪本店) |
| 酒田 尚志
(株東畑建築事務所 大阪) | 佐々木 尚
(株安井建築設計事務所 東京) | 杉本 憲祐
(株大林組 本店) |
| 高木 耕一
(株東畑建築事務所 名古屋) | 中馬 宏明
(鹿島建設 大阪支店) | 長南 裕一
(株東畑建築事務所 東京) |
| 内藤 洋志
(清水建設 関西事業本部) | 永田 敦士
(株東畑建築事務所 福岡) | 中村 猛
(大牟田高等学校) |
| 春増 崇
(株徳田昌克建築設計事務所) | 牧 圭亮
(株佐藤総合計画 関西事務所) | 樹田 洋子
(有精李舎) |
| 水出 喜太郎
(株日建設計 大阪) | 柳田 伸介
(株大林組 本店) | 山口 直子
(株佐藤総合計画 関西事務所) |
| 山路 千春
(株大林組 本店) | | |
- 〔個人準会員〕
陳 明傳

information

SDゼミ「ショップデザイン～飲食編&物販編～」開講

売れる店づくりとは何か、どんな空間演出が必要なのかを、飲食と物販の2課題のコンセプトワークを通じて学ぶ。今回の実習は「コンセプトワーク」が中心であり、誰にでも十分理解できる内容となっている。

●飲食編のコンセプトワーク

2005年11月16日(水)、12月7日(水)、21日(水)

2006年1月18日(水)

講師 野井成正(野井成正デザイン事務所)

一インテリアデザイナーとして「BAR川名」や「香の店 リスンII」「魚真」などを手がける。

●物販編のコンセプトワーク

2006年2月1日(水)、15日(水)、3月1日(水)、15日(水)

講師 服部滋樹(「graf」代表)

一空間デザイナーとして、アートと融合した企画展や、インターネットを使ったイメージ戦略を手がける。

講義場所はアーバンエクス備後町ビル6階、定員30名、受講料(税込み)一般47250円・学生42000円。

受講希望者は大阪ガスインテリアデザインスクール(TEL06-6262-4089 <http://www.og-school.com/>)へ。

第5回 読者と選ぶ「建築と社会」賞選考対象作品及び論文・記事 参考資料

〈2004年〉

【作品部門】

■ 作品作風 ● 作品名

- 1月号 ● JR東日本アートセンター四季劇場「自由」 ● ウェルプ六甲道1番街
- 2月号 ● 四ツ橋クリスタルビル
- 3月号 ● 小野薬品工業フジヤマ寮
- 4月号 ● 京都中宿十条ビル
- 5月号 ● 相知町交流文化センター ● 国際医薬品臨床開発研究所ビル
- 6月号 ● 社会福祉法人 天心会 特別養護老人ホーム ヴェルディバ戸ノ里 ●ダイヤモンドシティ・ハナ ● 阪神タイガース新室内練習場
- 7月号 ● NSDビル
- 8月号 ● 市立池田病院増築棟
- 9月号 ● 堺市立のびやか健康館 ● 尼崎市立弥生ヶ丘斎場—光庭のある斎場— ● 千船クリニクス ● 高速オフセット堺本工場
- 10月号 ● 医療法人讃和会 友愛会病院
- 11月号 ● 大津町運動公園総合体育館 ● 国分寺文書センター ● アーバネックス神山町ビル
- 12月号 ● 岡山県立図書館 ● 川崎祐宣記念講堂 ● 大日本製菓 新東棟

■ 東海支部会員特集—3月号— ● 作品名

- 国立三重病院 ● 美濃市立美濃病院 ● あいち小児保健医療総合センター ● 聖十字病院 ● 特別養護老人ホーム高坂苑増築 ● 瀬戸デジタルテレビ放送所 ● 東海テレビ放送新館 ● 名古屋テレビ放送株式会社社屋 ● トヨタインスティテュート ● トヨタ車体開発センター ● Paramita museum ● 星が丘テラス ● 東部丘陵線車両基地 ● 楞嚴寺増改築 ● セキスイハイム東海・ル・シェマ 泉町

■ 会員特集—11月号—＜私の空間作法＞ ● 作品名

- 新たなすまいと人生 (岡崎善久)
- 玄と翳の空間 (早崎伸一 ● 大木泰二郎 ● 平尾和洋)
- 重力の消えた家 (森村政悦)
- 浮遊する屋根 (村重保則)
- 大樹で結ぶ空間 (新居照和 ● ヴァサンティ)
- 風景に参加する (上谷重男)
- 長い視線をつくり出す (塚口明洋)
- 先輩の普請 (河内重雄)
- 内包された半外部空間の演出 (平井浩之)
- 回遊性のある住い (岸 一)
- 柔らかな光が差す浄域 (長瀬博一)
- 平成の雅趣を創る (村上幸三郎)
- 明治の蔵がよみがえる (元廣清志)
- お母さんの視線で考えたクリニック (中尾勝悦)

■ ギャラリー ● タイトル (執筆者)

- 1月号 ● 光と闇の意匠 (田村利夫)
- 2月号 ● キャトル・セゾン (楠原一明)
- 3月号 ● House Nis (木内達夫 ● 吉永健一)
- 4月号 ● 都心への帰郷 (飯塚拓生)
- 5月号 ● 小品式点 (斉藤 晃)
- 6月号 ● スローライフ/スローハウス (佐伯新和 ● 森本明雄)
- 7月号 ● 空間の装飾 (谷川 勲)
- 8月号 ● 心地良い場所 (北島庸行)
- 9月号 ● 「忙中、閑あり」(後藤哲夫)
- 10月号 ● 「起集」(大野亜紀)
- 11月号 ● 「ささやかな余裕」(柿本 薫)
- 12月号 ● 箱の中に箱がある？アートゾーン (松村佳久男)

【論考部門】

■ 特集 ● タイトル (執筆者)

- 1月号 ● 大分市住宅局—魅力ある大都市居住の実現に向けて— ● 大規模災害時への対応をより確かにする施設の整備 (大分市住宅局営繕部/藤日本設計) ● こどもから老人まで気軽に利用できる生涯スポーツ拠点と浪速区在宅サービスセンターの複合施設 (大分市住宅局営繕部/藤日本設計) ● 阿倍野ランドマークとして—あべのグラントウール— (大分市住宅局建設部/柳井建築設計事務所) ● 大分市の建築行政—横から眺めた50年— (三輪雅久) ● 公共建築と環境—20XX年のある日、TV番組編集事務所にて— (永村一雄) ● 大阪における住まいの変遷—大阪くらしの今昔館の展示を通して— (谷 直樹・新谷昭夫) ● 大分市/HOPEゾーン事業—「平野郷地区」「住吉大社周辺地区」(大分市住宅局企画部) ● 密集住宅市街地整備について (大分市住宅局企画部) ● 建築指導行政による良好な市街地の形成について (大分市住宅局建築指導部)

- 2月号 ● 都市緑化— ● 都市緑化のあらたな意義—そだてる都市の資産としての緑— (奥木 肇) ● 都市緑化施策の推進と建物緑化 (高梨雅明) ● 屋上緑化技術の変遷と課題 (三輪 隆) ● 緑化が都市環境にもたらすもの (星弥下 亮) ● アメニティとして活用される屋上緑化 (藤木郁子) ● 「日本ならではの良さ」を失わない都市づくりと都市緑化を (森山 明)

- 3月号 ● 愛・地球博—2005年日本国際博覧会のめざすもの— ● 愛・地球博メッセージ (2005年日本国際博覧会協会経営企画室) ● 会場計画の概要 (2005年日本国際博覧会協会会場整備グループ) ● 政府出展事業の計画概要 (小池雅行) ● 愛知県施設設計計画概要と設計意図 (浦野設計・第一工房) ● 名古屋パビリオン (安田裕樹) ● 魅力が満載民間パビリオンゾーン (2005年日本国際博覧会協会出展グループ) ● 新しい時代における市民参加へのチャレンジ (2005年日本国際博覧会協会市民参加促進グループ) ● せと・まるっとミュージアム—愛・地球博を契機として— (瀬戸市企画部国際博覧会推進課) ● 博覧会会場における公園事業と博覧会後の公園整備 (川崎明弘) ● 海上の森の保全と活用 (浦井 巧) ● 磁気浮上システム—リニモ (東部丘陵線) (愛知県高速交通)

- 4月号 ● 省リスクな「まち再生」—地球資源を生かした都市・建築・暮らしのデザイン— ● 「まち再生」におけるリスク・マネジメント (三田 彰) ● 都市開発事業におけるリスク・マネジメント (木下慎哉) ● 安心・安全のリスク・マネジメント (吉村英祐) ● コミュニティ・ビジネスによる地域再生—市民協働のプロセス— (藤江俊彦) ● 多様な主体の参画で文化再生を (狭間恵三) ● 長屋再生による都心再生 (六波羅雅一・松富兼一) ● 環境効果による町おこし (海東英和) ● 文豪による村おこし (兼瀬哲治) ● 「ひがしまち街角広場」によるニュータウン再生 (宮本京子)

- 5月号 ● リニューアルの技— ● リニューアル時代をどう切り開くか—リノベーションとコンバージョン— (藤田 忍) ● RC造におけるリニューアルのための診断技術 (濱崎 仁) ● 低騒音・低振動による耐震補強工法(木村耕三) ● 環境にやさしい外装下地の撤去技術(龍門 誠) ● 環境改善を考えた防水のリニューアル技術 (井上 周) ● 設備リニューアルに

おける室内環境評価技術 (洞田浩文・庄司 研) ● 戸建住宅の内外装リニューアル技術—生活者ニーズと環境問題を考慮して— (広沢健二)

- 6月号 ● 地域住民全体のまちづくりと支援制度— ● 住民主体のまちづくりを支援する法制度 (宗田好史) ● 路地の生命力—からほりの路地文化— (吉野国夫) ● 密集市街地におけるまちづくり (石原 匡) ● 住民自治と建築協定 (絹川正明) ● 京都の伝統的な街区での「まちづくり」(平家直美) ● 久美浜一区の街並み修復—街並みからまちづくりへ— (中西和義) ● 市民が主体のまちづくりへ—NPO法人の緩やかな活動— (新田俊明)

- 7月号 ● Product Design+1—プロダクトのインテリアデザインへの展開— ● プロダクトデザインの変遷—デザインと空間— (池上俊郎) ● インテリアとプロダクトデザイン (伊東史子) ● 液晶テレビAQUOSとインテリア—心豊かな暮らしへのまなざし— (喜多俊之) ● これからの冷蔵庫デザイン (有村敬三) ● 鉄道車両の空間デザイン (木村一男)

- 8月号 ● 銭湯—心地よさを求めて— ● 入浴—風呂の変遷とその効果— (大塚吉則) ● スーパー銭湯—計画から運営・管理まで— (高橋圭一) ● 銭湯・スーパー銭湯に最適なエネルギーシステム (山下弘樹) ● スーパー銭湯の照明計画 (大見堅悟) ● 住宅のお風呂の変遷 (国府田人紀) ● 水栓金具の変遷と特徴 (荒木 修) ● サウナ「ミスト・ドライ」開発の歴史 (山本博美) ● 露天風呂、ヒーリングサウナ、漢方薬草サウナ (高橋圭一) ● 銭湯とマッサージチェア (竹端秀海) ● 天然温泉名湯「宝乃湯」—計画段階から参加して— (木村公之)

- 9月号 ● 「建築家」とは何か—建築家の職能と価値を考える— ● あ、建築家 されど建築家 (太田隆信) ● 21世紀の社会と建築家 (馬場瑠造) ● 精神への偏愛 (柏木浩一) ● 「建築家」とは何か (遠藤秀平) ● 時をこえて (吉羽裕子) ● 建築家の役割 (岡本 隆) ● 建築家の今—建設会社設計部からの眼差し— (天野直樹) ● 「知られざる建築家」の遺産 (河野正彦) ● 様々なシーンの響き合う街 (小林幹彦) ● 「軽率な建築家」と輝く技術者 (中田義成) ● 「建築家」に望む「職能」(長谷部完司) ● 人への心に己の心を (山岸 豊) ● 建築教育におけるスタジオ・フィールド・ワークショップ (本多友常、平田隆行)

- 10月号 ● 巨大地震にそなえて— ● 巨大地震にそなえて (釜江宏宏) ● 震災の教訓を踏まえた住宅耐震化への取り組み (田中丈之) ● FM電波を使用した地震活動予測 (申田嘉男) ● 長周期地震動—建築物に想定される被害と今後の設計法— (北村春幸) ● 地震リスクの評価 (PML) (諏訪 仁) ● 免震住宅 (横山重和) ● 最新の耐震補強技術開発の動向 (益尾 潔) ● 高知能建築—構造ヘルスマモニタリングによる建物の健全度自己診断— (柴 慶治)

- 12月号 ● 青年技術者—

- 水方秀也 「福島1丁目A、B街区/(仮)阪大病院跡地再開発プロジェクト 他」
- 太田成彦 「外市東京支店ビル 他」
- 田鍋 稔 「Apple Store Shinsaibashi 他」
- 小幡剛也 「三重県熊野古道センター (仮称) 他」
- 島田太郎 「神戸関電ビルディング 他」
- 楠 敦士 「臨床研究情報センター 他」
- 須藤貴司 「五色町立図書館・鮎原地区公民館 他」
- 渡辺多加夫 「八尾市立病院 他」
- 荻野恵信 「吉川町健康福祉センター 他」
- 八尋浩平 「竹田市温泉施設 他」
- 寺谷啓史 「みづき保育園 他」
- 水谷俊博 「美野里町四季文化館の〜れ 他」
- 井上弘一 「和泉シティプラザ 他」
- 安野 郷 「大井町ショッピングセンター 他」
- 石原清孝 「松下電器産業㈱半導体社魚津新棟計画 他」
- 横山 満 「慈愛会奄美病院 他」
- 古島正博 「小野薬品工業新社屋 他」
- 西村 章 「香春口三萩野地区メディカルサポートハウジング 他」
- 山野上和志 「真宗大谷派 (東本願寺) 参拝接待所 他」
- 澤村晋次 「アストラゼネカ中国無錫工場 他」
- 横山喜宣 「和泉丘病院増築 他」
- 土田武志 「ダイヤモンドシティ奈良橿原ショッピングセンター 他」
- 安田辰夫 「JR奈良駅東家工事 他」

- 建築の眼 ● タイトル (執筆者)

- 1月号 ● 女性と年金と住い (楡谷美恵子) ● 起承転結 (荒木 敏) ● 保存・再生 (太田隆信) ● 「まち」と「ひと」(江口 崇)
- 2月号 ● まちなか居住 (楡谷美恵子) ● 人生の舞台 (荒木 敏) ● ゆっくりとプロセスを大切に (太田隆信) ● まちの原型 (江口 崇)
- 3月号 ● 住宅政策と福祉 (楡谷美恵子) ● 行政の技術者 (荒木 敏) ● 煉瓦造のなかつち (太田隆信) ● ひと、まち、建築 (江口 崇)

- 研究最前線を追う ● タイトル (執筆者)

- 1月号 ● 建築をとりまく熱・空気・光・音 (大阪市立大学工学研究科建築環境工学研究室)
- 2月号 ● 「建築学」への仮題 (兵庫県立姫路工業大学環境人間学部環境人間学科建築環境研究室)
- 3月号 ● 屋上緑化用水量と排水の水質 (近畿大学社会環境工学科水工学研究室)

- レポート ● タイトル (執筆者)

- 8月号 ● 井上まると氏講演会「プロが教えるキッチン設計のコツ」(山田 修)
- 法令コーナー ● タイトル (執筆者)
- 1月号 ● 大阪市狭い道路拡幅促進整備事業 (坂中信隆)
- 2月号 ● 全国建築審査会協議会50周年をむかえて (巽 和夫)
- 3月号 ● 大阪府景観条例 (平井秀樹)
- 4月号 ● 兵庫県ヘリテージマネージャー制度の概要 (沢田 伸)
- 5月号 ● 建設—率等の緩和及び建築物の防火規制に関する大阪府建築基準法施行条例の改正など (薄木三男)

- 6月号 ● 「先端医療産業特区」による神戸医療産業都市構想推進への取り組み (増田 匡)
- 7月号 ● 「大阪・工事監理の星」支援システム (山本 強)
- 8月号 ● 風格と華やきのある商店街の形成を目指して (和田豊志)
- 9月号 ● 法改正シリーズ・1 景観緑三法の公布と施行 (岡本哲夫)
- 10月号 ● 法改正シリーズ・2 改正建築基準法の概要—集団規定関係 (薄木三男・坂中 信隆・山根正利)
- 11月号 ● 法改正シリーズ・3 改正建築基準法の概要—単体規定関係— (中川啓三)
- 12月号 ● 大阪市建築物総合環境評価制度 CASBEE大阪 (森 英彦)

- 構造の頁 ● タイトル (執筆者)

- 1月号 ● 緒方町統合中学校の構造設計 (金田興熙・白髪誠一)
- 2月号 ● ユニット中空スラブ (池田秀樹)

第5回

〈2005年〉

- 3月号 ●SMWの本設杭使用 (金子 治)
 - 5月号 ●COPITA型PRC杭 (CPRCバイル (大岩健治郎))
 - 7月号 ●ガラスの最前線—サブストラチャーとしてのガラスの可能性 (高橋一教)
 - 9月号 ●資源循環型建築システムをめざして—ショッピングセンターにおける取り組み (須賀順子)
 - 11月号 ●神戸質屋会館の構造設計—鉄骨造ケージ構造への取り組み (白髮誠一)
- 設備の頁 ●タイトル (執筆者)
- 1月号 ●関西電力の蓄熱受託制度と採用事例 (中原達之)
 - 2月号 ●資源化エコバイオトイレ (寺沢 実・橋井敏弘)
 - 3月号 ●堺ガスの設備設計 (岡 克己)
 - 4月号 ●分煙—新千歳空港ホールディングス内喫煙施設— (大浦 博)
 - 6月号 ●オール電化住宅における熱利用機器の動向 (中曽康壽)
 - 8月号 ●蛍光ランプのリサイクルの現状 (杉山謙二)
 - 10月号 ●シックスクール問題 (池田耕一)
 - 12月号 ●よりよい空気を求めて (湯 懐鵬)
- 新建材の頁 ●タイトル
- 1月号 ●保水セラミックス環境材
 - 6月号 ●巻弁衝 (巻付け耐大破覆)

2005年

〔作品部門〕

■ 作品作風頁 ● 作品名

- ☐ 1月号 ● アミュプラザ鹿児島
☐ 2月号 ● ちらぼーと甲子園●帝国データバンク大阪支社ビル ● ダイヤモンドシティ
 プラウ ● 晋不全センター幸町記念病院
☐ 4月号 ● ダイヤモンドシティ・ルクス
☐ 5月号 ● 日新信用金庫玉津支店 ● ディーグラフォート神戸三宮タワー
☐ 6月号 ● KUZUHA MALL (くずはモール) ● ガーデンヒルズ千里中央
☐ 7月号 ● 横浜市立みなと赤十字病院 ● 介護老人保険施設 ケアヴィア宝塚
☐ 8月号 ● 大阪府立大学工学研究科物質系新学舎 (仮称) ● 兵庫県立宝塚高等学校 ● 西淀
 川区役所、西淀川図書館、水道局歌島サービスステーション、西淀川備蓄倉庫
☐ 9月号 ● 田原本青垣生涯学習センター ● 海岸通、エレガノ神戸
☐ 10月号 ● 大阪大学学生交流センター ● ウィンズ小郡 (JRA場外勝馬投票券発売所)

■ 特集—国立病院機構 長崎医療センター2月号— ●タイトル (執筆者)

●国立病院機構 長崎医療センタ

■ 東海支部会員特集—3月号— ● 作品名

- 愛知大学 車道校舎 ●(医) 宏潤会 大同病院A棟●特別養護老人ホームメリーホーム大喜
●桑名信用金庫駅前ビル ●桑名信用金庫四日市西支店 ●名古屋東宝ビル ●愛知県住宅供給
公社 サントリー砂田橋 ●豊田市飯ヶ池公園子供俱れハウス ●多目的広場上家 ●中国国際空
港旅客ターミナルビル ●中国国際空港港空港消防 ●中国国際空港 セントレアホテル

■ ギャラリー頁 ● タイトル (設計者)

- ☐ 1月号 ●新しい原風景 (筑波幸一郎)
- ☐ 2月号 ●装置としての彫刻 (寺田武弘)
- ☐ 3月号 ●空中リビングの家 (細木 茂)
- ☐ 4月号 ●透明な階段 (渡部慶一)
- ☐ 5月号 ●趣味・仕事・住まい (向井新二郎)
- ☐ 6月号 ●小さな住い・大きな暮らし (井上久実)
- ☐ 7月号 ●動きのあるデザイン (クレフテ)
- ☐ 8月号 ●Round the Clock (troika (丹呉由紀子・鶴衣祐子))
- ☐ 9月号 ●四季劇場「自由」(畑 弘行)
- ☐ 10月号 ●現代に開かれた建築 (由田 徹)

〔論考部門〕

■ 特集 ●タイトル (執筆者)

- ◎1月号<震災から10年>～震災により生まれた都市再生の潮流へ> ●阪神・淡路大震災から10年～住宅・まちづくり復興で出来たこと、残された課題～（垂水英一）●地域とNPOの協働まちづくり（宮定 章）●復興まちづくりから見た課題（西一嘉）●まちづくり協議会の果たした役割（中島克元）●震災と地域メディアからの情報発信（小泉美喜子）●被災者の避難生活（阪田弘一）●住宅復興と再建支援の経済学～生活の安全保障の構築に向けて～（永松伸吾）●将来の大震災に備えて～大震災の検証・8つの視点（宇崎益輝）●『大黒柱』の大切さ（東 朋治）●“まちづくりの現場”を感じる（宮定 章）●ガレキに花を咲かせよう（天川佳美）●高齢者コレクティブ住宅の推進●石東直子
 ◎この10年、さらに10年（宇崎益輝）

□2月号＜「健やか」～自然作用を活用した健やかな室空間の実現～＞ ●現代における「健

- やか」考（秋元孝之）●Human Centeredな地域建築～北海道立北方建築総合研究所の試み～（鈴木大隆）●放射冷房（甲谷寿史）●「シックハウスはなくなる」～住いのインフォームドコンセント～（横山幸弘）●天然ゼオライト素材による調湿内素材（松本 浩）●竹をとおして人と自然の環境共生をめざす（徳本一郎）

□2月号＜国立病院機構 長崎医療センター＞ ●21世紀のモデル病院をめざして（米倉

- 正大) ●アメニティの高い優し豊かな空間づくり (毛呂正俊) ●病院建築と電子カルテ (松本武浩) ●医療の灯台をめざした新しい病院 (坪根宏治・守安聡司) ●癒しの療養環境をめざして (高野直樹) ●災害に強い構造計画 (掛根正幸) ●エコホスピタルをめざして (林陽一・新原 渉) ●病院とともに歩む長期施行計画 (中西隆一郎・松木 豊) ●施工品質管理推進室
- 3月9<東海における施設づくりへの新たな試み> ●中国国際空港セントレアでの試み (荒尾和史) ●施設建設費抑制への設計からの対応 (赤司博之) ●工事特性を生かした施工法 (竹中・清水・鴻池・飛鳥・フジタ・ロッテ・名工・徳倉共同企業体) ●開港のインパクトを生かすまちづくり (石橋誠児) ●空港対岸部 (前島) にカジノコンプレックスを (井口彰二) ●日本初の図書館PFI事業 (尾関 誠) ●民間事業者と連携した再開発事業による街づくり (飯倉 健) ●海外設計事務所との連携による街並み創出日記 (山越篤哉・林 昌明) ●21世紀 新しい都市の姿と都市再生の手法<座談会> (出席者/小宮三辰・黒田清孝・佐伯 博・鈴木慶智・中村哲士)

- 4月号＜建築の経済化へ得する建築、儲かる建築へ＞ ●得する建築をくむために（古
 阪秀三） ●商品としての住宅（武 志） ●デザイン重視の住宅（西濱浩次） ●住宅のイ
 リア・マーケティングインタビュー（沖 有子） ●街の資産価値を高めるために（金城
 敦彦） ●100年後のまちを見据えて―「ハービスENT」における経済的な建築への取り組み
 （宅次郎・小浜良太）
- 5月号＜住まい方の変化へ住み手のこだわりがもたらした住宅の現在へ＞ ●集合住宅

- にもとめられるもの(上出剛敏) ●インテリアから発想した日本ではじめての家(大重 亨)
●住宅としてみた「認知高齢者グループホーム」(家田知明) ●集合住宅に新たな一歩へ
ベットの取り組み～(遠藤淳子) ●住宅に安心を求めて～住宅を対象とする火災保険の
進化にみる～(松崎一美) ●住宅の防犯(甘利康文・舟生岳夫) ●窓取りデザインの提案(白
瀬哲夫)
- 6月号く人工栽培～植物工場の要素技術と建築への展開～> ●人工栽培技術の歴史と
現状(新名淳彦) ●植物工場における光環境の制御(後藤英司) ●植物工場における熱制
御(森元正則) ●植物工場における空気・水制御と上屋(中村謙治) ●培地温度管理シ
ステムによるイチゴ栽培(宮本昭夫) ●きのこ栽培工場(寺下隆生) ●トマト栽培におけ
る環境制御(向井慎司) ●人工環境下での植物栽培一咲くよこの花館一(久山 敦)
- 7月号く次世代に伝える「木」の建築> ●次世代に伝える「木」の建築(坂本 功
三) ●「木の家」をデザインする一山と町をつなぐこと一(三澤文子) ●「木」を生かす設計
術(竹原義二) ●木をいたした建築の構造技術(長瀬 正) ●木々の眩き(中川克己) ●
木造建築は火に弱いか?—良い木造と悪い木造—(原田和典) ●「木」を伝える(佐野春仁)
- 世界に誇れる木造建築(木下孝一)

- 7月号<「建築と社会」1000号記念> ●晴れやかさからの出発、そして(佐野吉彦)
●活動シーズの変遷とその行方(興謝野 久) ●「建築と社会」創刊号から1000号にみる
住宅と暮らしの変遷(北浦かほる) ●歴史を踏まえて未来へ—協会活動かを魅力あるものに
—座談会(出席者/上原正行・河津龍太・神田暢子・小山将史・中村文紀・松浦剛士)
□8月号<改正建築基準法と景観緑三法—安全・安心のまちづくりと良好な景観形成に向け
て—> ●景観法の制定と今後の展開(岸田里佳子) ●既存建築物に対応した建築基準
法の改正(今村 敬) ●景観法の制定と京都の景観形成の取り組み(江田順宜) ●既存不
適格建築物の増築等<全体計画認定制度と基準適用の合理化> ●斜面地マンション問題等
への対応<住宅地下室の容積率不算入措置に係る規定の見直し>(村川博敏) ●防災空間の確
保と土地の有効活用<団地の総合的設計制度と特例容積率適用地区制度>(野村 彰)
●既存建築物の安全性の確保<定期報告・検査制度の充実>(中 昭良)

- 9月号く火災から守る> ●火から建築を守る（長谷見雄二）●木造被覆耐火性複合構
造材の開発（並木勝義）●火から熱膨張シートで鉄骨を守る—熱膨張性材料による耐火被
覆—（小笠真男）●火から繊維でコンクリートを守る—超高强度コンクリートの爆裂防止
—（原田博成）●火から水で大空間建物を守る—放水型—等スプリンクラー設備—（沢
田浩希）●火からガラスで人を守る—放射熱を遮る耐火ガラス—（池内清治）●煙から感
知器で人を守る—煙を感知する技術—（山口拓郎）●煙からスクリーンで人を守る—遮煙
スクリーンによる災害防止事例—（岡澤淳）

- 10月号＜構造の過去から未来へ～大阪万博から35年へ＞ ●構造は子供の夢（狩野忠正）
 ●土と水の関わり（高橋寛一）●超高層における構法の変遷（八木眞樹）●超高層ビルを
 出現させた鋼骨構法の技術（長尾直治）●ヒューマンな住環境としての木造システムをめざ
 して（榎原健一）●鉄筋コンクリート構法基準の変遷（田中仁史）●社会・都市と建築構造・
 生産技術の動向（瀬川輝夫）●構造設計の手法昔話（馬瀬芳知）●構造設計者の役割と責
 任（鶴飼邦夫）

■ レポート ● タイトル (執筆者)

- 2月号 ●阪神大震災から10年をふり返って一木造住宅の耐震改修を本気でやりましょう (稲毛政信) ●茶の湯渾感—利休が神 (茶型) になった日— (上谷重男)
 □ 7月号 ●『メビウスの輪を歩いて』—ミースから日本的な空間の精神性へ— (横井篤文)
 ●日本の精神的空間—非物質性の発見 (葉 祥栄)

●書評 ●タイトル (執筆者)

- 8月号●地球環境時代の建築と横断的思考—『建築デザインと環境計画』（濱 恵介）

■ 設楽貞雄外遊日記—90年前、建築家が見た欧米 ●タイトル（監修）

- 7月号 ●大正元年10月16日、神戸駅から+大正一ケタ時代の建築の世界 (石田潤一郎)
- 8月号 ●びっくり仰天のサンフランシスコ+万国博とアパート (石田潤一郎)
- 9月号 ●モルメントン大本山評議+建築家モルガンとの出会い (石田潤一郎)
- 10月号 ●押し問答のナイガラ見物+シゴ派退場後のシゴにて (石田潤一郎)

■ 法令コーナー ● タイトル (執筆者)

- 1月号●日本一安全な住いのまち震災復興と建築物安全安心実施計画（増淵昌利）●被災建築物応急危険度判定と被害住家被害認定調査（朝倉一晃）
- 2月号●京都府・京都市の建築物福祉に係る条例の概要（井華秀樹・宮川和久）
- 3月号●住宅耐震改修工法の提案（谷口要治）
- 4月号●大阪市の都市再生～総合設計制度を活用した「にぎわい」の創出～（古川敦子）
- 5月号●兵庫県の景観条例（前田俊文）
- 6月号●大阪市における住宅転用支援への取り組み（洞 正寛）
- 7月号●老朽危険家屋への神戸市の取り組み（平川利人）
- 8月号●民間提案型の都市計画＜神戸三宮駅前地区＞（和瀬 大）
- 9月号●中古住宅のローン減税（結城基昌）
- 10月号●大規模集客施設の立地に係る都市機能の調和に関する条例＜兵庫県条例＞（藤原一）

■ 設備の頁 ● タイトル (執筆者)

- 2月号●四角形蛍光ランプとその応用器具 (吉田正彦)
- 4月号●入退室管理設備 (小山隆弘)
- 6月号●ESCO手法を活用した総合医療センターの省エネルギー改修事業 (石井勝秋・高橋和治)
- 10月号●遮熱断熱塗料の現状と展望 (徳永行文)

■ 構造の頁 ● タイトル (執筆)

- 3月号●「三鷹天命反転住宅」の構造（大淵敏行）
- 5月号●ステンレスの台に置くだけの免震構造（西村春美）
- 7月号●JR奈良駅の曳家（奥田和弘）
- 9月号●風力と太陽熱のエネルギー利用システム—ロータス白浜1号の開発（金 正鉉・橋塚三郎）

■ 新建材の頁 ● タイトル

- 8月号 ● エバーライト—NFNR ノンフロン断熱材

※11月号の作品及び論文・記事については本号をご覧ください。
なお、12月号につきましては発刊前にて記載しておりません。

空調・衛生・クリーンルーム設備
(設計・施工)



本社・本店 東京都港区浜松町1-25-7 電話03(3432)5711
大阪支店 大阪市淀川区加島1-58-59 電話06(6302)2270
支店 北海道・東北・北関東・横浜・名古屋・中国・九州

電気設備工事設計施工
東光電気工事株式会社
関西支社

執行役員支社長 島田 高樹

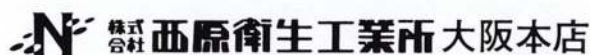
大阪市中央区高麗橋4丁目3番7号 電話大阪(6202)0325~9番
本社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支社 北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・北関東・中部・九州

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計 施工



本店・大阪本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 電話(06)6441-8231
東京本社 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目15番10号 電話(03)3261-8231
支店 名古屋・福岡・札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所 帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
出張所 シンガポール・ホンコン
技術研究所 〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地 電話(0492)58-1511

より快適な水環境をめざして
給排水衛生設備、冷暖房設備、消火設備の設計、施工



大阪本店 〒531-0071 大阪市北区中津六丁目8番4号
TEL. 06-6458-3628 (代表)
本社 〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目6番18号
TEL. 03-3452-7441 (代)
支店 札幌・東北・新潟・東関東・横浜・名古屋・九州

空調和設備
給排水設備
電気設備



産業設備
水処理施設
環境施設

三機工業株式会社

取締役社長 宅 清光

常務執行役員関西支店長 丸 岡 敏 峯

関西支店 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル
本社 東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー
<http://www.sanki.co.jp>

OKUJU
Space Creator

クオリティ&コストパフォーマンス

ALTSシステム
スナップ工法

SP-600

メタルシステム天井

内外装制作 パネル・システム天井・間仕切り
株式会社 **オクジュー**

本社 大阪市北区西天満5丁目3番7号 〒530-0047
TEL(06)6312-4131 FAX(06)6312-7998
東京・九州・南九州・名古屋・上海

CHOYO

人かいる多彩なフィールドで、
新しい眼界に挑戦しています。

電気設備設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山本 貴士

本社 〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目2-4(朝日ビル)
TEL 06(6385)1361(代) FAX 06(6385)1050



Digital Pri-Press
AOBA PRINTING CO., LTD.

代表取締役社長 依 藤 孝 行

青葉印刷株式会社

〒534-0027 大阪市都島区中野町2丁目10番11号
Phone.06-6351-5428 Fax.06-6351-5299



空調 衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよい環境へ技術で挑む

株式会社精研

本社 大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル1・2階)
〒542-0066 電話 大阪 (06) 6768-5031 代表
メンテナンス 電話 大阪 (06) 6768-1651 代表
東京支社 東京都文京区小石川1丁目12番14号(日本生命小石川ビル7階)
〒112-0002 電話 (03) 5689-2351 代表



We have hope

■印刷事業 ポスター、カタログ、パンフレット、書籍、年鑑、社史、雑誌、文字、画像データ処理
■メディア事業 SP・プリンティング・コンサルティング・ITソリューション、web及びメディアコンテンツ企画制作



株式会社NPCコーポレーション

本社 〒530-0043 大阪市北区天満1-9-19
tel: (06) 6351-7271 (代) fax: (06) 6352-7479
第二ビル 〒530-0043 大阪市北区天満1-11-8
tel: (06) 6351-0128 (代) fax: (06) 6351-0208
東京支社 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-2
tel: (03) 3433-5211 (代) fax: (03) 5776-7733

(旧社名ナニワ印刷機、日本データネット機)

地球環境を守り、100年建築に貢献する

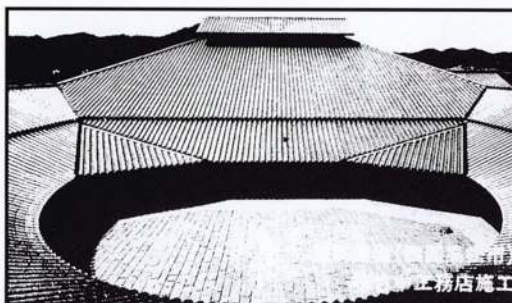
NACL のアルミ表面処理

株式会社日本電気化学工業所

<http://nacl.jp> E-mail: sc@nacl.co.jp

本部営業部 〒560-0036 大阪府豊中市蛍池西町2丁目7番26号 NACLビル2階
TEL (06)6843-1235(代) FAX (06)6853-1632

東京事務所 〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目7-2 東京NACLビル
TEL (03)3862-0978(代) FAX (03)3862-7098



〒556-0024
大阪府浪速区堀江二丁目三番三
ナニワ瓦株式会社
あらゆる屋根工事の相談は、
工場店施工

デンカCSAファミリー製品

- デンカCSA** (膨張性混和材) コンクリートのひびわれ防止に
- デンカラスコン** (グラウト用無収縮材) 鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
- デンカキューデックス** (止水・補修用急硬セメント) コンクリート躯体の漏水補修に
- デンカES** (土質安定用急硬材) 地盤補強用薬注入
- デンカΣ1000** (製品用超高度混和材) コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に

電気化学工業株式会社

近畿地区販売店

浜宗産業株式会社

TEL 本社・京都・網野 (07727) 2-2220
舞鶴 (0773) 76-0133

金森藤平商事株式会社

TEL 大阪 (06) 6332-6861
TEL 東京 (03) 3272-8501

小浦産業株式会社

TEL 大阪 (06) 6443-6181

光洋物産株式会社

TEL 大阪 (06) 6252-6000

東郷化成株式会社

TEL 滋賀・守山 (0775) 83-2381
TEL 大阪 (06) 6877-1581

企画・日本建築協会

《プロのノウハウ》

建築トラブルにみる 常識非常識

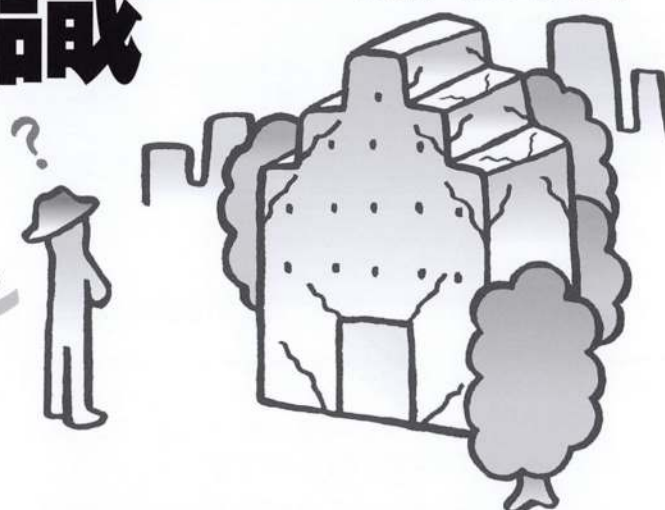
荒川治徳 著

ARAKAWA Harunori

壁に入ったひび割れは
必ずしも欠陥ではない!?

〈本書の内容〉

- 第1章 コンクリートはなぜひび割れるのか
- 第2章 コンクリートの強度ってなんだろう
- 第3章 左官は職人の技術
- 第4章 建物を支える基礎と地盤
- 第5章 施工技術は意外にローテク
- 第6章 木の性質を知ろう
- 第7章 お互い信頼して家をつくるために



定価2310円 (本体2200円)
四六判・240頁
ISBN4-7615-2348-4

学芸出版社

〒600-8216
京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
Tel 075-343-0811 <http://www.gakugei-pub.jp/>
Fax 075-343-0810 E-mail info@gakugei-pub.jp

新製品レビュー



FSB500



KSB500

高い耐久性と耐衝撃性を誇り、Recycle、Reuse、Reduce可能な
新機能セキュリティ対応固定方式

日立オフィス用フロア FSA・FSBシリーズ

FSA・FSBシリーズ(スチール製軽量モルタル注入タイプ)、KSA・KSBシリーズ(スチール製中空タイプ)をモデルチェンジ。従来のねじ込み式4箇所/枚の固定方式から、交点固定することにより、レイアウト変更時の取扱いが容易になるだけでなく、パネル四隅に特殊ビスを使用することによりセキュリティ対策が可能になりました。専用の固定ボルト使用で優れた歩行感が確保されました。省資源化を実現し、環境対策にも対応可能です。

日立機材株式会社 内装営業部
TEL.03-3615-5431 URL. <http://www.hitachi-kizai.co.jp>

環境に配慮した耐火被覆材として業界で初めてエコマークを取得

〔新湿式せっこう・ロックウール系吹付耐火被覆材〕

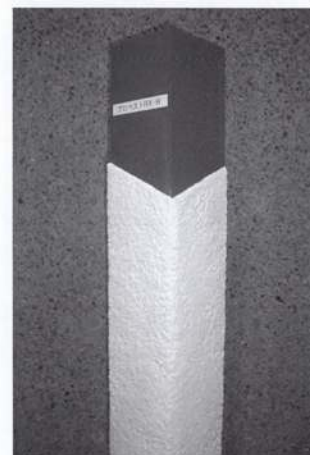
「耐火一番」プロベストRX-W

「耐火一番」プロベストRX-Wは、資源の有効活用を担うため主原料の63%に再生材料を使用し、耐火被覆材として初めてエコマークを取得した環境にやさしい製品です。＜エコマーク認定番号04123001＞また、施工現場での発生廃材をリサイクル可能として、産業廃棄物の場外への搬出を抑制します。

新開発の「新湿式工法」の採用により密実な優れた耐火層を形成し、また、耐熱性の高い従来のセメント・ロックウール組成に加え、せっこうおよび高吸



再生材料を使用
高炉スラグ、石膏・63%



熱性材料を添加することによって優れた耐火性を発揮します。ロックウール系吹付耐火被覆材として最も薄い被覆厚さを実現しました。

＜例：柱1時間耐火構造 被覆厚さ10mm＞

さらに、新規採用の細粒化ロックウール供給装置により、凹凸が少ないきれいな表面です。原料もすべて白色系の原料に限定し、白さを際立たせたきれいな仕上がりですので、見え掛りの部分に自信を持ってお使いいただけます。

株式会社エーアンドエーマテリアル
TEL.06-6312-1765 URL. <http://www.aa-material.co.jp>

新製品のアピールはこの欄で!!!

設計や施工に携わる多くの会員の方々は、日々進歩する製品の情報取得に労力を割かれています。この「新製品レビュー」欄を利用して、新製品のアピールをされてはいかがでしょうか。建築にかかわる製品で、社会から求められている環境に配慮した新製品、新工法、新システムなどをご紹介します。

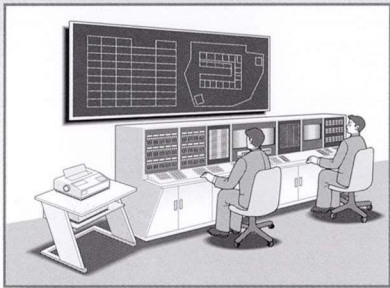
■スペースは1/4頁(タテ60mm×ヨコ190mm)
PR原稿の文字数は210字以内(ヨコ35字×6行以内)。
ご社名、電話番号、ホームページ・Eメールアドレス
製品等の写真1~2点(写真サイズ:タテ60mm×ヨコ87mm)

■問合先 編集部: 鶴田晴子
大阪市中央区大手前1-7-31
OMMビル7階 電話06-6946-6981
E-mail: ken-sha_t@aaj.or.jp

あなたの身近にホーチキブランド

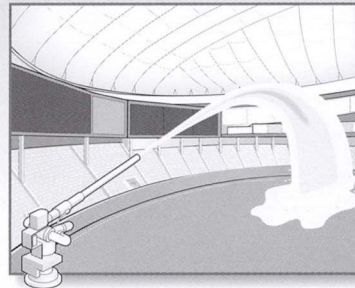
日本で最初の防災メーカーとして誕生した私たちは、87年という長い年月を人々の安全と安心のために捧げてきました。まさにそれは「ホーチキの歴史は火災防災の歴史」といっても過言ではありません。そしてこれからも、火災による犠牲者がなくなるまで人々を見守り続けることが、私たちの使命なのです。

火災報知システム



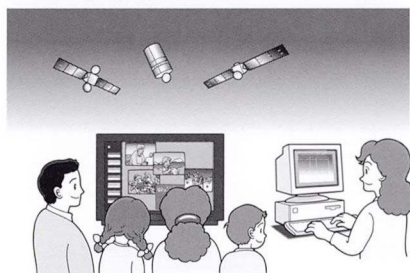
- 自動火災報知設備
- 火災通報装置
- ガス漏れ火災警報設備
- プラント防災設備
- 共同住宅用自動火災報知設備
- 非常警報設備
- 無線式火災警報設備
- 超高感度煙検知システム
- 防排煙制御設備

消火システム



- スプリンクラー設備
- 放水銃システム
- 連結送水管・連結散水設備
- 泡消火設備
- 二酸化炭素消火設備
- 粉末消火設備
- 共同住宅用スプリンクラー設備
- 屋内・屋外消火栓設備
- ドレンチャー設備
- 窒素消火設備
- FM-200消火設備
- トンネル非常用設備

ネットワークシステム



- テレビ共同受信設備
- CATVシステム
- 無線通信補助設備
- デジタル放送受信システム
- テレビ電波障害対策設備
- 放送設備
- BS/CS放送受信システム

セキュリティシステム



- 出入管理設備
- 防犯設備
- X線透視装置
- 鍵管理設備
- 郵便不審物選別装置
- 防犯カメラ

あれも、これもみんなホーチキです。



ホーチキのメンテナンスは万全です。
建物も「設備の健康診断」で、
いつも元気！

新着ニュース

ご存知ですか？

いよいよ平成18年6月1日
から新築住宅への義務設置
がスタート！

(東京都では平成16年10月1日より)

住宅用火災警報器は、
火災防災のプロフェッショナル、
ホーチキの製品をお選びくだ
さい。

詳細は、<http://www.hochiki.co.jp> へ



リニューアルもお任せください。
設備・システムのリニューアルから、
電子部品の交換まで。
早めの対応で、今日も安心！



火災報知・消火・トンネル防災・ネットワーク・出入管理など各種システムの製造、販売、施工、保守

ホーチキ株式会社

本

社 〒141-8660 東京都品川区上大崎2-10-43

TEL 03(3444)4111 FAX 03(3444)4118

<http://www.hochiki.co.jp>

あらゆるニーズに対応する 文化シャッターの防火防煙シリーズ

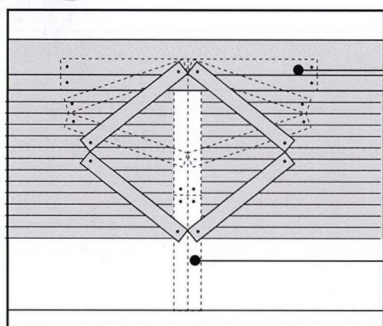
都市と暮らしの安全を守るうえでますます重視される防災シャッター。
文化シャッターは、常に課せられたテーマに真摯に取り組む、防災設計
と快適空間づくりに新しい提案をしていきます。



防災上必要な
シャッターだが
空間意匠からいえば
ガイドレール中柱は
ないほうが
いいなア

ポールレス 防火(防煙)シャッター

防火(防煙)区画がポールレスの スッキリ空間に!



通常時は
ガイドレール用
中柱は天井内に
収納されて
います。

シャッター
降下とともに
ガイドレール用
中柱が作動
します。

■新開発の《ポールレスシャッター》は、
固定式であったガイドレール中柱を
可動・2つ折り方式で天井内に収納。

■従来の防火(防煙)シャ
ッターではじまなガイ
ドレール中柱をなくして、
使い勝手のよいスッキリ
としたフロアスペースを
実現します。



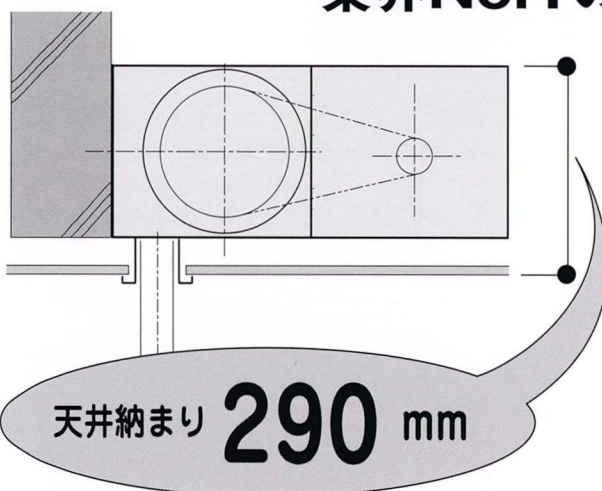
懐寸法が小さくて
シャッターが
納まらない

ケース高さを
小さくして
有効シャッターHを
大きくとりたい

もっと小さな
防火防煙
シャッターは
ないかな

スーパーコンパクト防煙シャッター

業界No.1のコンパクト化を実現!



天井納まり **290 mm**

■天井納まりの制約を少なくするため、
シャッターケース高さを極力小さく
することをコンセプトに開発。

■ピッチ62mmの新スラット(F-66)
を採用し、従来型防煙シャッターの
約1/2のケース高さで業界NO.1の
コンパクト化を実現。

■はさまれ事故防止のために障害物
感知装置(当社独自開発のコードブ
ーリ式)を装備しても、ケース高さ
寸法は変わりません。

文化シャッター株式会社

関西支社 営業推進部 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20 トヤマビル中央館8F TEL.06(6264)0618
URL <http://www.bunka-s.co.jp> E-mail: kandeve@mail.bunka-s.co.jp